

# 四日市市 高齢者介護に関する調査結果報告書

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

平成 29 年 3 月

四日市市



## 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、平成 30 年度から実施する次期「高齢者保健福祉計画」および「介護保険事業計画」を策定するにあたり、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉全般にかかわる各種サービス提供を充実させるための基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

### 2. 調査の方法

- ① 調査対象地域 四日市市全域
- ② 調査対象者 介護保険の第 1 号被保険者(65 歳以上)であって、介護保険の要介護認定を受けていない人、及び要支援 1 と要支援 2 の認定を受けている人
- ③ 調査期間 平成 29 年 1 月
- ④ 調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

### 3. 配布・回収数

配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
2,000 件	1,553 件	77.7%	6 件	1,547 件	77.4%

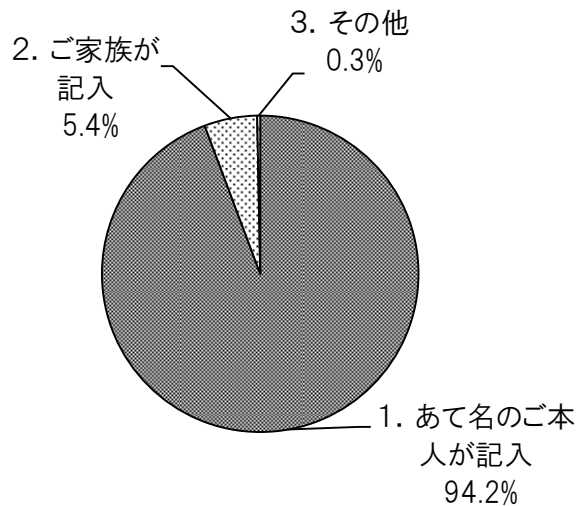
### 4. 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中の N 数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(表中)の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。したがって、回答者比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑤ 参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。
- ⑥ 性・年齢別クロス集計については、『64 歳以下男』、『65～74 男』、『75～84 男』、『85 以上男』、『64 歳以下女』、『65～74 女』、『75～84 女』、『85 以上女』の 8 区分で集計します。
- ⑦ 地区別クロス集計については、日常生活圏域である『北地区』、『中地区』、『南地区』の 3 区分で集計します。

## 調査結果

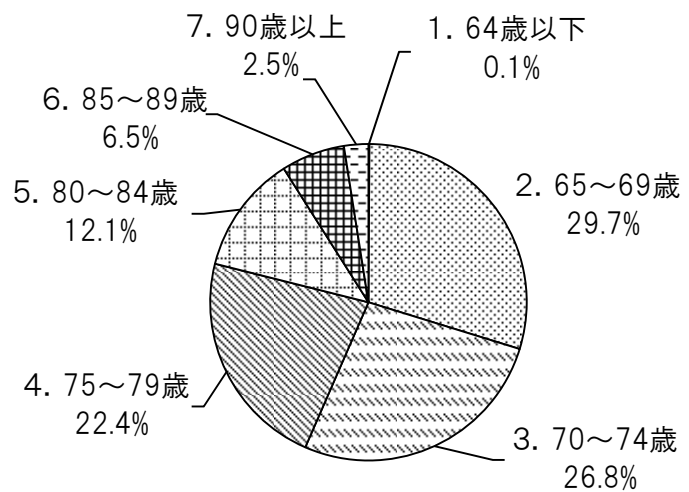
### ご本人について

(1) 調査票を記入されるのはどなたですか。(〇はひとつ)【N=1,470】



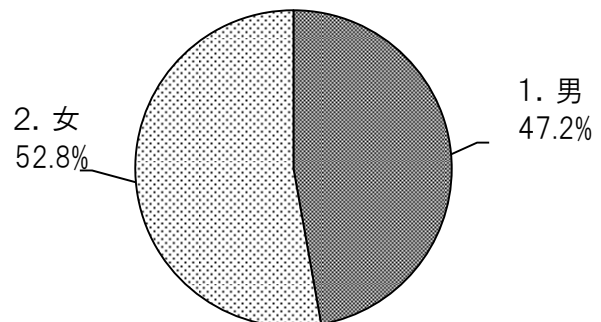
(2) 平成 29 年 1 月 1 日現在のあなたの年齢を教えてください。(〇はひとつ)【N=1,516】

年齢は、「65～69 歳」が約 3 割 (29.7%)を占め、以下、「70～74 歳」(26.8%)、「75～79 歳」(22.4%)、「80～84 歳」(12.1%)と続いています。



(3) あなたの性別を教えてください。(〇はひとつ)【N=1,391】

性別は、「男性」が 47.2%、「女性」が 52.8%と、「女性」が「男性」を 5.6 ポイント上回っています。



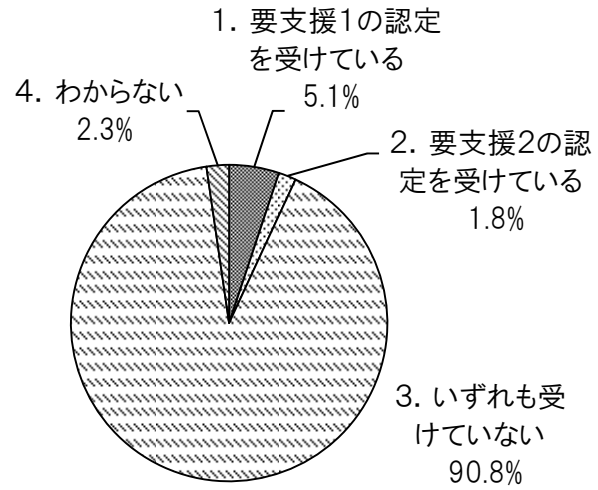
(4) あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(〇はひとつ)【N=1,518】

居住地区は、「三重」が10.6%で最も高く、次いで「四郷」(9.1%)、「中部」(7.4%)と続いています。



(5) あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(〇はひとつ)【N=1,517】

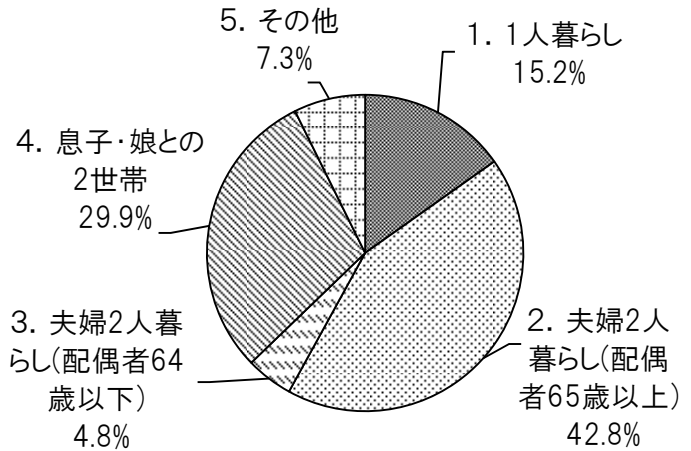
介護保険の要介護認定については、「いずれも受けていない」が約9割(90.8%)を占めており、「要支援1の認定を受けている」は5.1%、「要支援2の認定を受けている」は1.8%となっています。



## 問1 家族や生活状況について

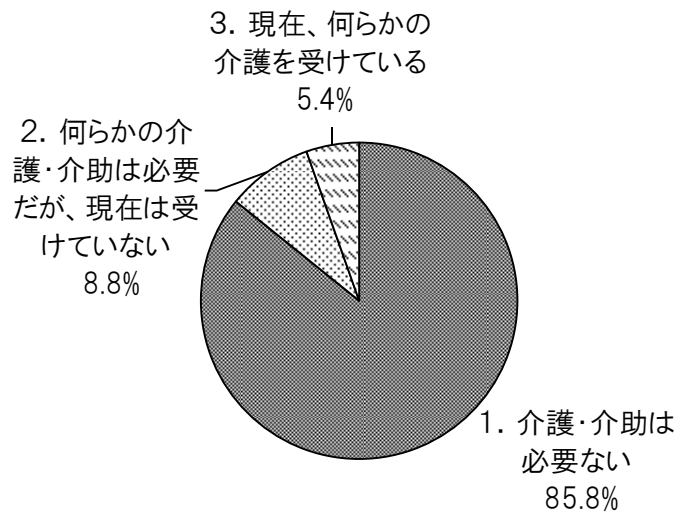
### (1) 家族構成をお教えてください。(〇はひとつ)【N=1,517】

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が42.8%、「息子・娘との2世帯」が29.9%、「1人暮らし」が15.2%となっています。



### (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(〇はひとつ)【N=1,512】

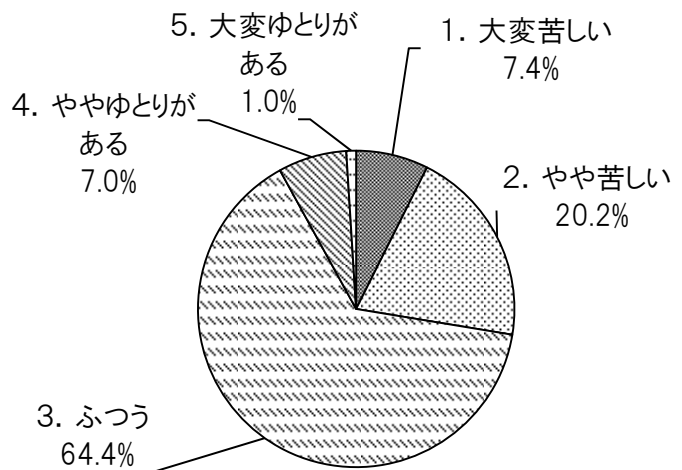
普段の生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が85.8%を占め、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.8%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.4%となっています。



### (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)【N=1,524】

現在の暮らしの経済的状況については、「ふつう」と回答した人が約6割(64.4%)を占めています。

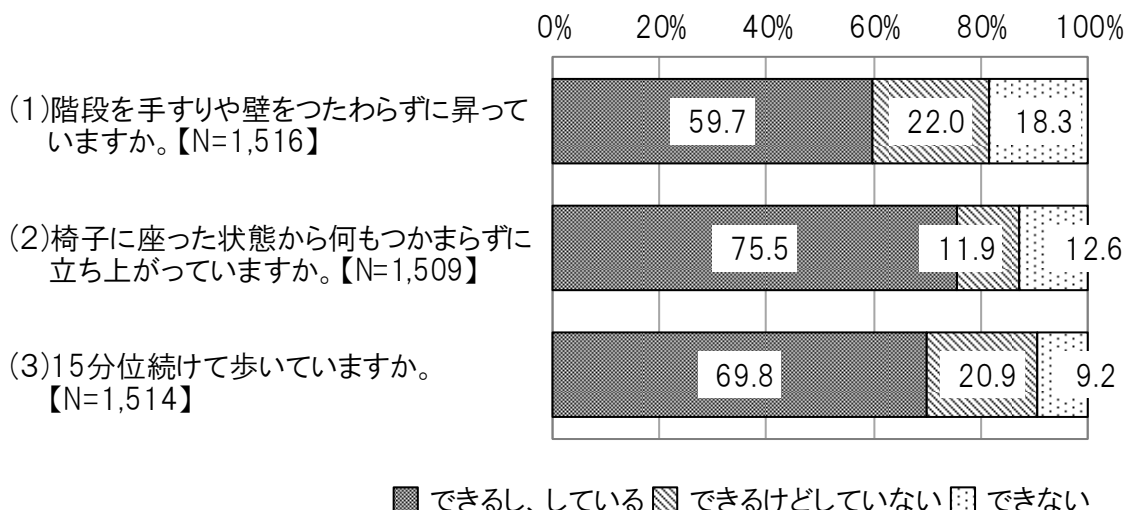
一方、「大変苦しい」(7.4%)、「やや苦しい」(20.2%)と回答した『苦しいと感じている人』は約3割(27.6%)となっています。



## 問2 からだを動かすことについて

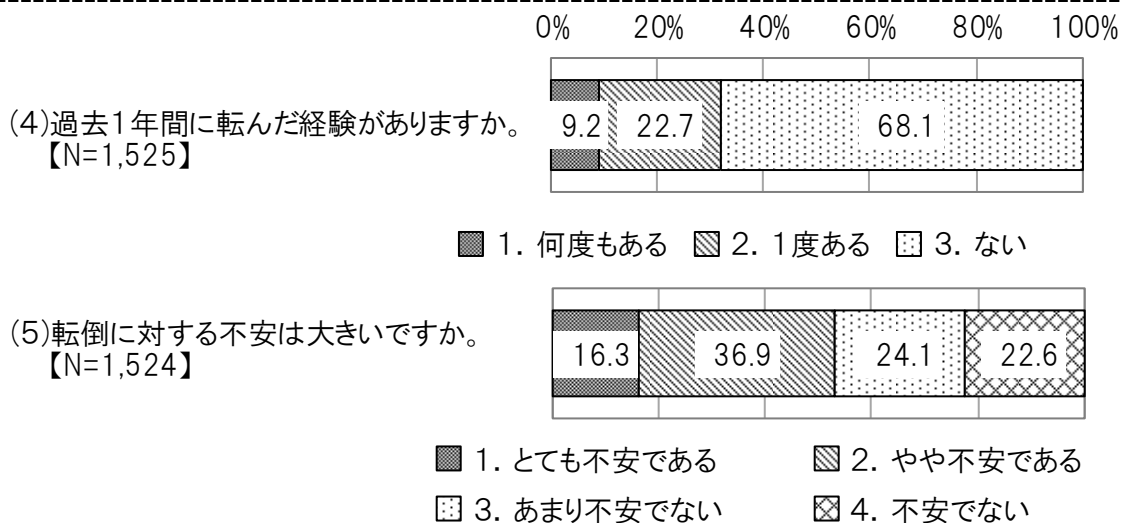
- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)  
 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)  
 (3) 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できない」と回答した人が約2割(18.3%)を占めています。また、階段を手すりや壁をつたわずに昇ることや15分位続けて歩くことについて、「できるけどしていない」と回答した人が約2割(22.0%、20.9%)を占めています。



- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)  
 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

転んだ経験については、「ない」と回答した人が約7割(68.1%)を占めています。一方、転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』人は過半数(53.2%)を占めており、転倒の経験は今現在あまりないものの、転倒への不安についてはある程度持っていることがうかがえます。





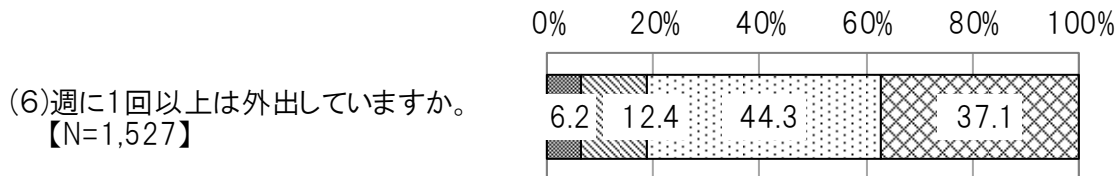
(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

外出については、「ほとんど外出しない」と回答した人は僅か 6.2%と少なく、ほとんどの人が週1回以上は外出しています。

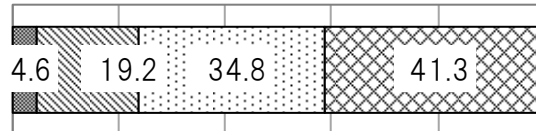
また、外出の回数については、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた外出機会が『減っていない』人は約8割(76.1%)を占めています。

一方、「とても減っている」と「減っている」を合わせた外出機会が『減っている』人は約2割(23.8%)となっています。



- 1. ほとんど外出しない
- 2. 週1回
- 3. 週2~4回
- 4. 週5回以上

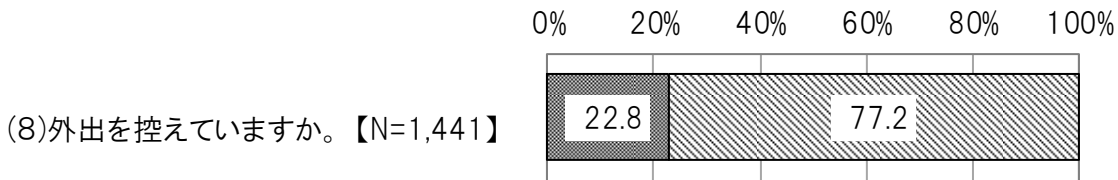
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。【N=1,529】



- 1. とても減っている
- 2. 減っている
- 3. あまり減っていない
- 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を控えている人は約2割(22.8%)となっており、控えていない人が約8割(77.2%)を占めています。



- 1. はい
- 2. いいえ

性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64歳以下			65~74歳			75~84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. はい	1 100.0	- -	1 100.0	34 9.7	55 13.5	89 11.8	61 28.6	68 31.6	129 30.1	27 55.1	35 55.6	62 55.4
2. いいえ	- -	- -	- -	315 90.3	351 86.5	666 88.2	152 71.4	147 68.4	299 69.9	22 44.9	28 44.4	50 44.6
全体	1 100.0	- -	1 100.0	349 100.0	406 100.0	755 100.0	213 100.0	215 100.0	428 100.0	49 100.0	63 100.0	112 100.0

性・年齢別にみると、外出を控えている人は年齢が上がるに従い割合が高くなり、『男性』よりも『女性』の割合の方が高くなっています。一方、『64歳以下』では外出を控えている人は男性が1人(100.0%)あります。

### 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. はい	72 33.0	117 19.4	6 8.5	93 21.9	36 35.3
2. いいえ	146 67.0	487 80.6	65 91.5	331 78.1	66 64.7
全体	218 100.0	604 100.0	71 100.0	424 100.0	102 100.0

世帯状況別にみると、外出を控えている人は『1人暮らし』では約3割(33.0%)に上り、また、『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』と『息子・娘との2世帯』では2割前後となっています。

### 認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. はい	52 69.3	22 81.5	232 18.3	11 34.4
2. いいえ	23 30.7	5 18.5	1039 81.7	21 65.6
全体	75 100.0	27 100.0	1271 100.0	32 100.0

認定状況別にみると、外出を控えている人は『要支援1』では約7割(69.3%)、『要支援2』では約8割(81.5%)に上ります。

### 日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. はい	98 22.9	112 22.4	113 23.2
2. いいえ	330 77.1	387 77.6	375 76.8
全体	428 100.0	499 100.0	488 100.0

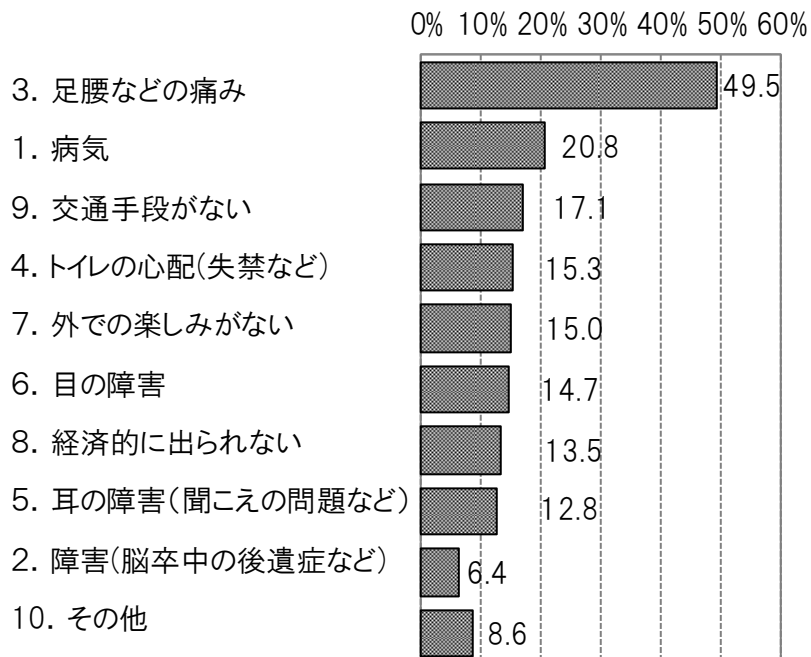
日常生活圏域別にみると、いずれの圏域でも外出を控えている人は約2割(22.9%、22.4%、23.2%)となっています。

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)を選んだ人に伺います。】

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(当てはまるものすべてに○)【N=327】

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が最も高く、49.5%に上っています。次いで、「病気」(20.8%)が続いています。

一方、健康上の理由ではなく、「交通手段がない」と回答した人が17.1%で3番目に高く、また、「経済的に出られない」と回答した人も13.5%あります。



## 性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64 歳以下			65～74 歳			75～84 歳			85 歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 病気	-	-	-	7	11	18	22	13	35	8	3	11
	-	-	-	20.6	20.0	20.2	36.1	19.1	27.1	29.6	8.8	18.0
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	1	-	1	2	3	5	7	4	11	1	1	2
	100.0	-	100.0	5.9	5.5	5.6	11.5	5.9	8.5	3.7	2.9	3.3
3. 足腰などの痛み	-	-	-	13	19	32	26	32	58	17	27	44
	-	-	-	38.2	34.5	36.0	42.6	47.1	45.0	63.0	79.4	72.1
4. トイレの心配(失禁など)	-	-	-	1	4	5	9	16	25	8	6	14
	-	-	-	2.9	7.3	5.6	14.8	23.5	19.4	29.6	17.6	23.0
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	-	-	-	2	3	5	4	11	15	10	9	19
	-	-	-	5.9	5.5	5.6	6.6	16.2	11.6	37.0	26.5	31.1
6. 目の障害	-	-	-	6	2	8	8	12	20	8	7	15
	-	-	-	17.6	3.6	9.0	13.1	17.6	15.5	29.6	20.6	24.6
7. 外での楽しみがない	-	-	-	8	8	16	10	9	19	3	4	7
	-	-	-	23.5	14.5	18.0	16.4	13.2	14.7	11.1	11.8	11.5
8. 経済的に出られない	-	-	-	8	12	20	6	11	17	1	1	2
	-	-	-	23.5	21.8	22.5	9.8	16.2	13.2	3.7	2.9	3.3
9. 交通手段がない	-	-	-	2	12	14	7	17	24	8	4	12
	-	-	-	5.9	21.8	15.7	11.5	25.0	18.6	29.6	11.8	19.7
10. その他	-	-	-	5	6	11	5	5	10	3	2	5
	-	-	-	14.7	10.9	12.4	8.2	7.4	7.8	11.1	5.9	8.2
全体	1	-	1	34	55	89	61	68	129	27	34	61
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。『65～74 歳男』では「外での楽しみがない」と「経済的に出られない」が、『65～74 歳女』では「経済的に出られない」と「交通手段がない」が、それぞれ同率で 2 番目に高くなっています。また、『75～84 歳女』でも「交通手段がない」が 2 番目に高くなっており、男性より女性の方が健康上の理由ではなく外出を控えている様子がうかがえます。

## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 病気	21 29.6	20 17.1	1 16.7	21 22.6	5 13.9
2. 障害(脳卒中の後 遺症など)	1 1.4	10 8.5	- -	8 8.6	2 5.6
3. 足腰などの痛み	37 52.1	48 41.0	3 50.0	56 60.2	16 44.4
4. トイレの心配(失禁 など)	9 12.7	17 14.5	- -	20 21.5	2 5.6
5. 耳の障害(聞こえの 問題など)	9 12.7	15 12.8	1 16.7	12 12.9	4 11.1
6. 目の障害	11 15.5	14 12.0	1 16.7	17 18.3	4 11.1
7. 外での楽しみがな い	11 15.5	22 18.8	2 33.3	8 8.6	6 16.7
8. 経済的に出られな い	10 14.1	18 15.4	1 16.7	7 7.5	8 22.2
9. 交通手段がない	17 23.9	16 13.7	1 16.7	19 20.4	3 8.3
10. その他	4 5.6	11 9.4	- -	6 6.5	7 19.4
全体	71 100.0	117 100.0	6 100.0	93 100.0	36 100.0

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。『1人暮らし』と『息子・娘との2世帯』では「病気」が2番目に高くなっていますが、『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』と『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「外での楽しみがない」が2番目に高くなっています。

## 認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 病気	16 30.8	4 18.2	39 16.9	5 45.5
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	7 13.5	4 18.2	9 3.9	- -
3. 足腰などの痛み	32 61.5	18 81.8	103 44.6	3 27.3
4. トイレの心配(失禁など)	13 25.0	5 22.7	31 13.4	- -
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	11 21.2	4 18.2	21 9.1	2 18.2
6. 目の障害	11 21.2	5 22.7	27 11.7	3 27.3
7. 外での楽しみがない	11 21.2	2 9.1	35 15.2	- -
8. 経済的に出られない	4 7.7	1 4.5	38 16.5	- -
9. 交通手段がない	15 28.8	9 40.9	30 13.0	2 18.2
10. その他	2 3.8	- -	26 11.3	- -
全体	52 100.0	22 100.0	231 100.0	11 100.0

認定状況別にみると、いずれの介護状況でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、『要支援1』と『非該当』では「病気」が2番目に高くなっていますが、『要支援2』では「交通手段がない」が40.9%で2番目に高くなっています。

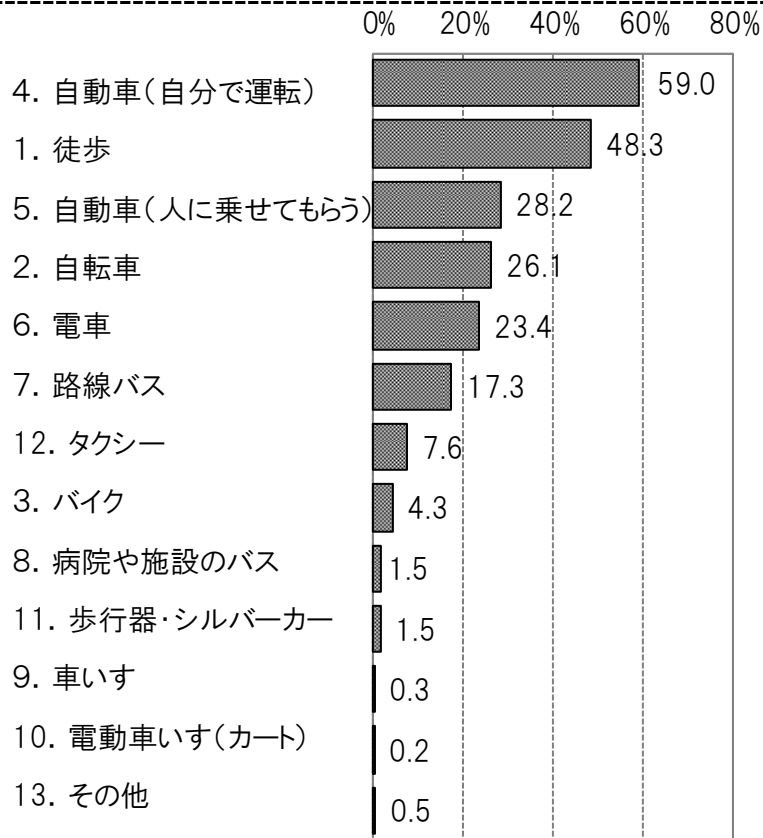
## 日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. 病気	18 18.4	19 17.0	29 25.9
2. 障害(脳卒中の後遺症など)	5 5.1	6 5.4	10 8.9
3. 足腰などの痛み	46 46.9	53 47.3	61 54.5
4. トイレの心配(失禁など)	16 16.3	15 13.4	19 17.0
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	10 10.2	15 13.4	16 14.3
6. 目の障害	15 15.3	17 15.2	15 13.4
7. 外での楽しみがない	12 12.2	17 15.2	19 17.0
8. 経済的に出られない	14 14.3	16 14.3	14 12.5
9. 交通手段がない	15 15.3	18 16.1	23 20.5
10. その他	11 11.2	10 8.9	7 6.3
全体	98 100.0	112 100.0	112 100.0

いずれの日常生活圏域でも全体結果と同様に「足腰などの痛み」が最も高く、次いで、「病気」が続いています。一方、『南地区』では「交通手段がない」が20.5%と、他地区に比べて5ポイント前後高くなっています。

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(当てはまるものすべてに○)【N=1,492】

外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が59.0%で最も高く、次いで、「徒歩」(48.3%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(28.2%)、「自転車」(26.1%)が続いています。





## 性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64歳以下			65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 徒歩	-	-	-	182	228	410	98	105	203	20	25	45
	-	-	-	50.0	54.0	52.2	45.6	47.1	46.3	40.0	40.3	40.2
2. 自転車	-	-	-	92	129	221	61	51	112	11	12	23
	-	-	-	25.3	30.6	28.1	28.4	22.9	25.6	22.0	19.4	20.5
3. バイク	-	-	-	11	32	43	7	8	15	1	1	2
	-	-	-	3.0	7.6	5.5	3.3	3.6	3.4	2.0	1.6	1.8
4. 自動車(自分で運転)	-	-	-	323	213	536	170	62	232	19	4	23
	-	-	-	88.7	50.5	68.2	79.1	27.8	53.0	38.0	6.5	20.5
5. 自動車(人に乗せてもらう)	1	-	1	40	176	216	31	94	125	16	32	48
	100.0	-	100.0	11.0	41.7	27.5	14.4	42.2	28.5	32.0	51.6	42.9
6. 電車	-	-	-	87	122	209	42	60	102	9	9	18
	-	-	-	23.9	28.9	26.6	19.5	26.9	23.3	18.0	14.5	16.1
7. 路線バス	-	-	-	44	83	127	28	54	82	12	19	31
	-	-	-	12.1	19.7	16.2	13.0	24.2	18.7	24.0	30.6	27.7
8. 病院や施設のバス	-	-	-	-	7	7	3	4	7	1	6	7
	-	-	-	-	1.7	0.9	1.4	1.8	1.6	2.0	9.7	6.3
9. 車いす	-	-	-	2	-	2	1	2	3	-	-	-
	-	-	-	0.5	-	0.3	0.5	0.9	0.7	-	-	-
10. 電動車いす(カート)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	1.6	1.8
11. 歩行器・シルバーカー	-	-	-	-	-	-	-	11	11	-	4	4
	-	-	-	-	-	-	-	4.9	2.5	-	6.5	3.6
12. タクシー	-	-	-	13	24	37	20	20	40	8	17	25
	-	-	-	3.6	5.7	4.7	9.3	9.0	9.1	16.0	27.4	22.3
13. その他	-	-	-	2	1	3	1	3	4	-	1	1
	-	-	-	0.5	0.2	0.4	0.5	1.3	0.9	-	1.6	0.9
全体	1	-	1	364	422	786	215	223	438	50	62	112
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、『65～74歳男』と『75～84歳男』では「自動車(自分で運転)」が、『64歳以下男』と『85歳以上女』では「自動車(人に乗せてもらう)」が、それ以外の性・年齢では「徒歩」が、それぞれ最も高くなっています。

### 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 徒歩	115 52.0	321 51.0	35 48.6	199 45.6	38 36.2
2. 自転車	52 23.5	170 27.0	17 23.6	123 28.2	23 21.9
3. バイク	8 3.6	30 4.8	3 4.2	15 3.4	6 5.7
4. 自動車(自分で運 転)	91 41.2	414 65.7	61 84.7	233 53.4	62 59.0
5. 自動車(人に乗せて もらう)	45 20.4	175 27.8	11 15.3	155 35.6	33 31.4
6. 電車	67 30.3	143 22.7	21 29.2	91 20.9	21 20.0
7. 路線バス	50 22.6	112 17.8	11 15.3	66 15.1	17 16.2
8. 病院や施設のバス	7 3.2	6 1.0	- -	10 2.3	- -
9. 車いす	- -	4 0.6	- -	- -	1 1.0
10. 電動車いす(カー ト)	- -	- -	- -	2 0.5	1 1.0
11. 歩行器・シルバー カー	6 2.7	1 0.2	- -	15 3.4	1 1.0
12. タクシー	31 14.0	44 7.0	2 2.8	26 6.0	7 6.7
13. その他	1 0.5	2 0.3	- -	1 0.2	4 3.8
全体	221 100.0	630 100.0	72 100.0	436 100.0	105 100.0

世帯状況別にみると、『1人暮らし』では「徒歩」が、それ以外の世帯状況では「自動車(自分で運転)」が、それぞれ最も高くなっています。

## 認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 徒歩	26 36.1	11 42.3	652 49.2	13 41.9
2. 自転車	7 9.7	1 3.8	367 27.7	8 25.8
3. バイク	1 1.4	- -	62 4.7	- -
4. 自動車(自分で運 転)	12 16.7	4 15.4	827 62.4	16 51.6
5. 自動車(人に乗せて もらう)	36 50.0	13 50.0	361 27.2	4 12.9
6. 電車	9 12.5	2 7.7	325 24.5	4 12.9
7. 路線バス	12 16.7	2 7.7	236 17.8	3 9.7
8. 病院や施設のバス	10 13.9	4 15.4	7 0.5	1 3.2
9. 車いす	3 4.2	- -	1 0.1	- -
10. 電動車いす(カー ト)	- -	1 3.8	2 0.2	- -
11. 歩行器・シルバー カー	9 12.5	2 7.7	11 0.8	1 3.2
12. タクシー	15 20.8	10 38.5	78 5.9	4 12.9
13. その他	1 1.4	1 3.8	5 0.4	1 3.2
全体	72 100.0	26 100.0	1325 100.0	31 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』では「自動車(人に乗せてもらう)」が、『非該当』では「自動車(自分で運転)」が、それぞれ最も高くなっています。また、『要支援2』では「タクシー」が38.5%に上り、他の認定状況に比べてとくに高くなっています。

### 日常生活圏域別クロス

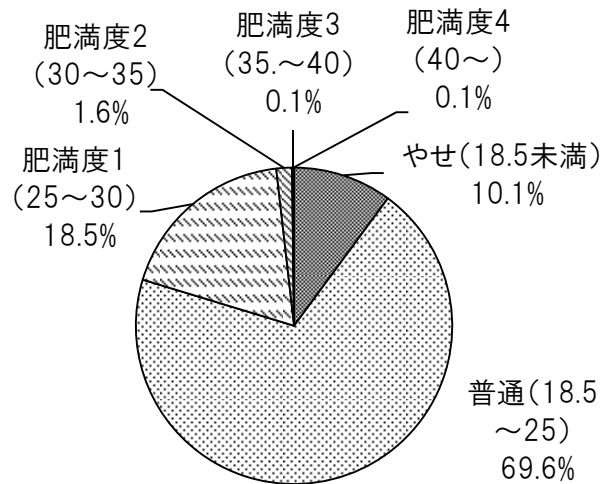
上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. 徒歩	224 50.6	245 46.5	239 48.4
2. 自転車	148 33.4	109 20.7	129 26.1
3. バイク	25 5.6	15 2.8	22 4.5
4. 自動車(自分で運 転)	243 54.9	322 61.1	294 59.5
5. 自動車(人に乗せて もらう)	125 28.2	151 28.7	144 29.1
6. 電車	112 25.3	113 21.4	119 24.1
7. 路線バス	46 10.4	121 23.0	90 18.2
8. 病院や施設のバス	6 1.4	13 2.5	4 0.8
9. 車いす	- -	2 0.4	3 0.6
10. 電動車いす(カー ト)	1 0.2	1 0.2	1 0.2
11. 歩行器・シルバー カー	10 2.3	4 0.8	9 1.8
12. タクシー	38 8.6	34 6.5	39 7.9
13. その他	5 1.1	1 0.2	2 0.4
全体	443 100.0	527 100.0	494 100.0

日常生活圏域別にみると、いずれの圏域でも全体結果と同様に「自動車(自分で運転)」が最も高く、「徒歩」が2番目に高くなっています。

### 問3 食べることについて

#### (1) 身長・体重について、数字を右詰でご記入ください。【N=1,547】

身長・体重から求めたBMIによる体格は、「普通」が69.6%を占めています。また、「やせ」は10.1%と少なく、「肥満」は合わせて20.3%となっています。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)。(〇はひとつ)。

(4) 6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。(〇はひとつ)

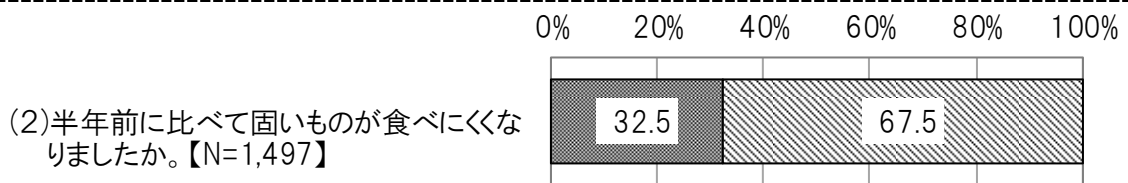
(5) どなたかと食事をとる機会がありますか。(〇はひとつ)

摂食については、「(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」に「はい」と回答した人が 32.5%あり、摂食に不自由さを感じ始めている人が少なからずみられます。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 40.7%で最も高く、次いで、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(31.1%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(17.6%)、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」(10.6%)の順となっています。「入れ歯を利用」している人は合わせて約 6 割(58.3%)を占めています。

体重の減少については、6 か月間で 2～3 kg以上の体重減少があった人は 14.1%、なかった人は 85.9%となっています。

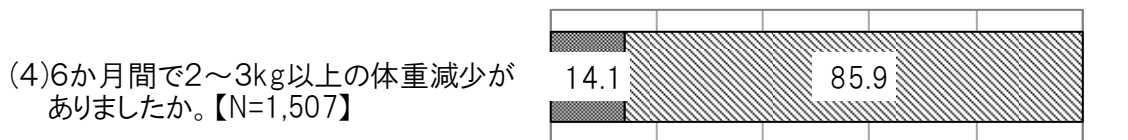
だれかと食事をとる機会については、「毎日ある」が 55.9%、「週に何度かある」が 7.5%、「月に何度かある」が 18.7%、「年に何度かある」が 10.1%となっており、『ある』人は合わせて約 9 割(92.2%)を占めています。一方、「ほとんどない」と回答した孤食状態にある人は 7.9%となっています。



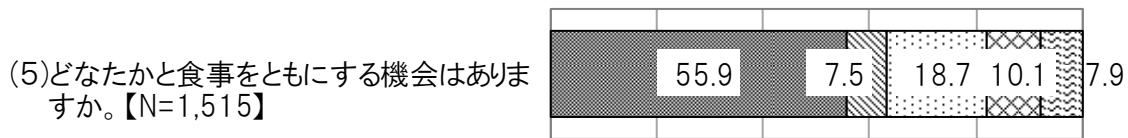
■ 1. はい ■ 2. いいえ



■ 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
 ■ 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 ■ 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
 ■ 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし



■ 1. はい ■ 2. いいえ

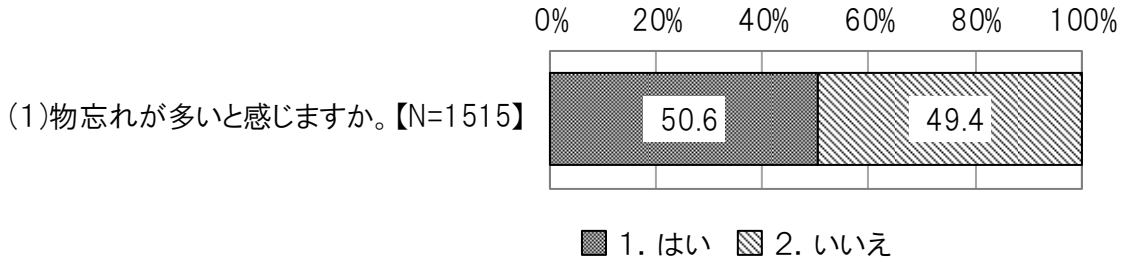


■ 1. 毎日ある ■ 2. 週に何度かある  
 ■ 3. 月に何度かある ■ 4. 年に何度かある  
 ■ 5. ほとんどない

## 問4 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じますか。(〇はひとつ)

物忘れについて、「(1)物忘れが多いと感じますか」に「はい」と回答した人は50.6%となっており、約半数の人が「物忘れ」に心当たりがあることがうかがえます。



### (2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(〇はひとつ)

### (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇はひとつ)

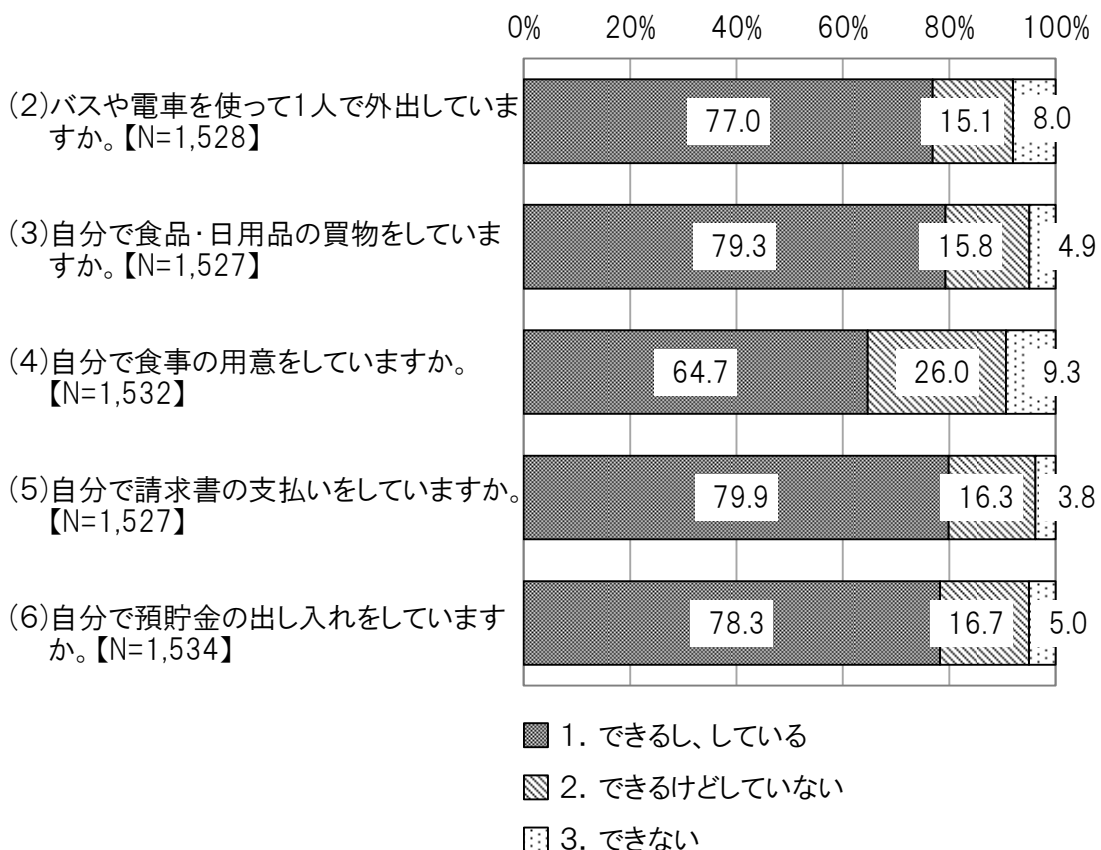
### (4) 自分で食事の用意をしていますか。(〇はひとつ)

### (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇はひとつ)

### (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇はひとつ)

「(2)バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」、「(3)自分で食品・日用品の買物をしていますか」、「(4)自分で食事の用意をしていますか」、「(5)自分で請求書の支払いをしていますか」、「(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか」について、「できるし、している」、「できるけどしていない」と回答した人は、合わせてそれぞれ90%を超えており、外出や買物、食事の用意、金銭の管理などについては大多数の人に支障がないことがうかがえます。

一方、食事の用意については「できない」と回答した人が約1割(9.3%)あります。

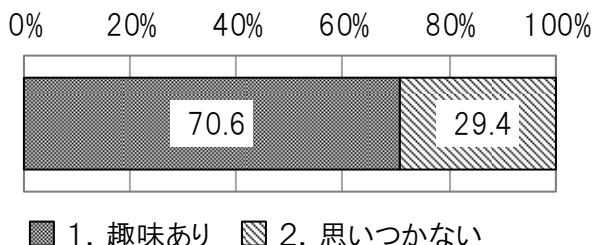


(7) 趣味はありますか。(○はひとつ)

(8) 生きがいはありますか。(○はひとつ)

趣味が「ある」人が約 7 割(70.6%)、生きがいが「ある」人が約 6 割(61.6%)を占めています。  
 一方、趣味が「思いつかない」人は約 3 割(29.4%)、生きがいが「思いつかない」人は約 4 割(38.4%)となっています。

(7)趣味はありますか。【N=1,494】



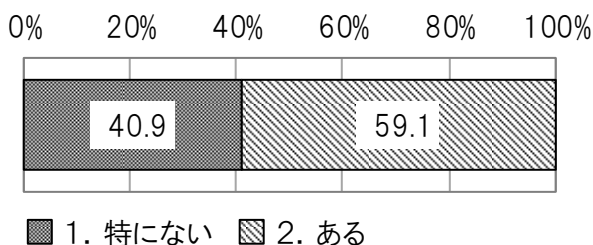
(8)生きがいはありますか。【N=1,481】



(9) あなたは、現在、日常生活の中で不安に思っていることがありますか。(○はひとつ)

現在、日常生活の中で不安に思っていることが「ある」人は約 6 割(59.1%)に上ります。一方、「特にない」人は約 4 割(40.9%)となっており、不安を抱えている人が 18.2 ポイント上回っています。

(9)あなたは、現在、日常生活の中で不安に思っていることがありますか。  
【N=1,476】



世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1 人暮らし	夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上)	夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下)	息子・娘との 2 世帯	その他
1. 特にない	61 28.1	268 43.2	37 50.7	193 44.5	36 33.6
2. ある	156 71.9	352 56.8	36 49.3	241 55.5	71 66.4
全体	217 100.0	620 100.0	73 100.0	434 100.0	107 100.0

世帯状況別にみると、『1 人暮らし』では不安に思っていることが「ある」人は 71.9%に上っています。



## 認定状況別クロス

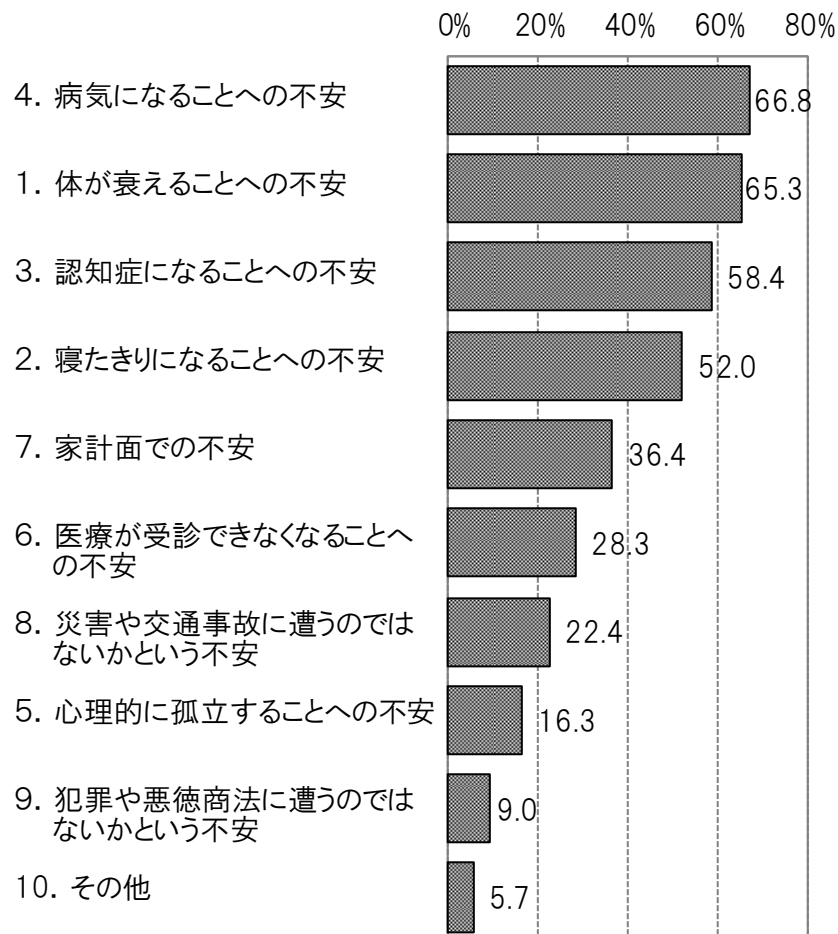
上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 特にない	13 18.1	3 11.5	562 42.9	12 37.5
2. ある	59 81.9	23 88.5	748 57.1	20 62.5
全体	72 100.0	26 100.0	1310 100.0	32 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』と『要支援2』では不安に思っていることが「ある」人は8割を超えており、とくに『要支援2』では88.5%と高くなっています。

## 【(9)で「2. ある」を選んだ人に伺います。】

## (9)-① どのようなことが不安ですか。(当てはまるものすべてに○)【N=870】

「病気になることへの不安」が66.8%で最も高く、次いで、「体が衰えることへの不安」(65.3%)、「認知症になることへの不安」(58.4%)、「寝たきりになることへの不安」(52.0%)と続き、身体の衰えに不安を持っている人が多いことがうかがえます。



## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 体が衰えることへの不安	104 67.1	240 68.2	23 65.7	143 59.3	50 70.4
2. 寝たきりになることへの不安	91 58.7	180 51.1	17 48.6	120 49.8	37 52.1
3. 認知症になることへの不安	81 52.3	222 63.1	15 42.9	137 56.8	46 64.8
4. 病気になることへの不安	105 67.7	248 70.5	23 65.7	152 63.1	43 60.6
5. 心理的に孤立することへの不安	35 22.6	58 16.5	6 17.1	25 10.4	17 23.9
6. 医療が受診できなくなることへの不安	60 38.7	99 28.1	7 20.0	54 22.4	25 35.2
7. 家計面での不安	52 33.5	125 35.5	18 51.4	85 35.3	32 45.1
8. 災害や交通事故に遭うのではないかと不安	36 23.2	81 23.0	10 28.6	51 21.2	16 22.5
9. 犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安	21 13.5	29 8.2	3 8.6	15 6.2	9 12.7
10. その他	9 5.8	18 5.1	3 8.6	14 5.8	5 7.0
全体	155 100.0	352 100.0	35 100.0	241 100.0	71 100.0

世帯状況別にみると、全体結果の上位4つ(「病気になることへの不安」、「体が衰えることへの不安」、「認知症になることへの不安」、「寝たきりになることへの不安」)については、順位の違いはあれ、いずれの世帯状況においても上位を占めています。

『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では、「家計面での不安」(51.4%)が他の世帯状況に比べてとくに高くなっています。

## 認定状況別クロス

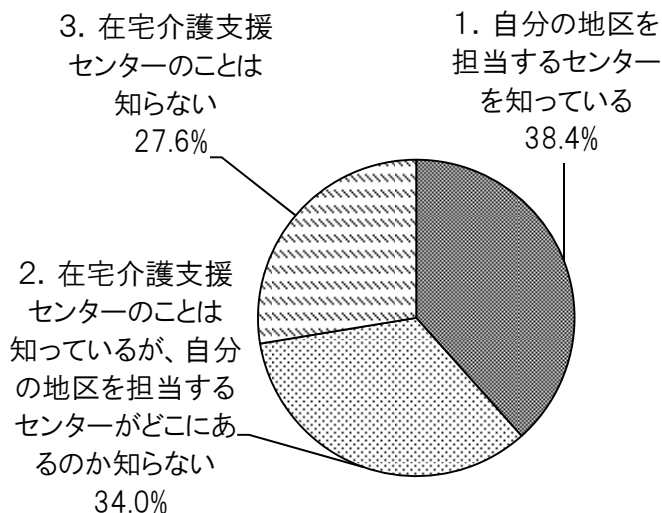
上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 体が衰えることへの不安	43 72.9	16 69.6	482 64.6	14 70.0
2. 寝たきりになることへの不安	42 71.2	19 82.6	365 48.9	14 70.0
3. 認知症になることへの不安	30 50.8	14 60.9	439 58.8	11 55.0
4. 病気になることへの不安	36 61.0	15 65.2	497 66.6	15 75.0
5. 心理的に孤立することへの不安	15 25.4	7 30.4	112 15.0	5 25.0
6. 医療が受診できなくなることへの不安	20 33.9	9 39.1	204 27.3	6 30.0
7. 家計面での不安	13 22.0	6 26.1	280 37.5	9 45.0
8. 災害や交通事故に遭うのではないかと不安	11 18.6	5 21.7	168 22.5	5 25.0
9. 犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安	6 10.2	5 21.7	59 7.9	3 15.0
10. その他	3 5.1	- -	45 6.0	1 5.0
全体	59 100.0	23 100.0	746 100.0	20 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』では「体が衰えることへの不安」が、『要支援2』では「寝たきりになることへの不安」が、『非該当』では「病気になることへの不安」が、それぞれ最も高くなっています。

一方、『非該当』では「家計面での不安」(37.5%)が他の認定状況に比べてとくに高くなっています。

(10) あなたは、在宅介護支援センターを知っていますか。(〇はひとつ)

在宅介護支援センターについて、「自分の地区を担当するセンターを知っている」は約4割(38.4%)、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」は3割強(34.0%)、「在宅介護支援センターのことは知らない」は3割弱(27.6%)となっています。



認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 自分の地区を担当するセンターを知っている	53 76.8	13 50.0	470 36.3	9 30.0
2. 在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	10 14.5	4 15.4	456 35.2	11 36.7
3. 在宅介護支援センターのことは知らない	6 8.7	9 34.6	370 28.5	10 33.3
全体	69 100.0	26 100.0	1296 100.0	30 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』では「自分の地区を担当するセンターを知っている」が約8割(76.8%)を占めています。一方、『非該当』では「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」が35.2%となっており、認定を受けている人に比べてとくに高くなっています。

## 居住地区別クロス

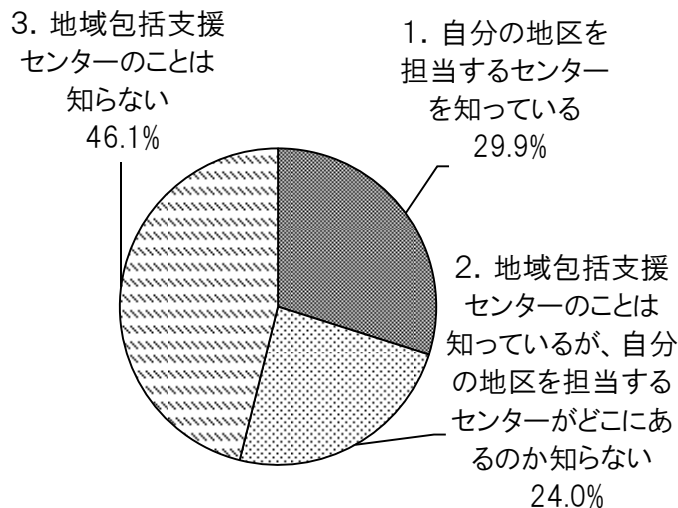
上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 自分の地区を担当するセンターを知っている	35 33.7	33 55.9	33 45.8	15 23.4	22 28.2	24 35.8	54 41.5	26 35.6	15 45.5	13 59.1	31 49.2	21 55.3
2. 在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	47 45.2	17 28.8	25 34.7	22 34.4	33 42.3	29 43.3	37 28.5	25 34.2	10 30.3	3 13.6	19 30.2	6 15.8
3. 在宅介護支援センターのことは知らない	22 21.2	9 15.3	14 19.4	27 42.2	23 29.5	14 20.9	39 30.0	22 30.1	8 24.2	6 27.3	13 20.6	11 28.9
全体	104 100.0	59 100.0	72 100.0	64 100.0	78 100.0	67 100.0	130 100.0	73 100.0	33 100.0	22 100.0	63 100.0	38 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 自分の地区を担当するセンターを知っている	26 29.9	42 28.0	19 45.2	19 32.8	24 53.3	21 28.8	7 63.6	7 50.0	12 52.2	17 37.8	9 42.9	23 41.1
2. 在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	39 44.8	46 30.7	14 33.3	20 34.5	12 26.7	32 43.8	- -	2 14.3	6 26.1	16 35.6	7 33.3	19 33.9
3. 在宅介護支援センターのことは知らない	22 25.3	62 41.3	9 21.4	19 32.8	9 20.0	20 27.4	4 36.4	5 35.7	5 21.7	12 26.7	5 23.8	14 25.0
全体	87 100.0	150 100.0	42 100.0	58 100.0	45 100.0	73 100.0	11 100.0	14 100.0	23 100.0	45 100.0	21 100.0	56 100.0

居住地区別にみると、「自分の地区を担当するセンターを知っている」が高い地区は、『富洲原』『小山田』『神前』『下野』『河原田』『水沢』『保々』となっており、いずれも50%を超えています。とくに、『河原田』では63.6%に上っています。一方、「在宅介護支援センターのことは知らない」が高い地区は、『羽津』と『三重』となっており、いずれも40%を超えています。

(11) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(〇はひとつ)

地域包括支援センターについて、「自分の地区を担当するセンターを知っている」は約3割(29.9%)、「地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない」は2割強(24.0%)、「地域包括支援センターのことは知らない」は5割弱(46.1%)となっています。



認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 自分の地区を担当するセンターを知っている	46 65.7	10 40.0	366 27.8	7 22.6
2. 地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	12 17.1	5 20.0	324 24.6	4 12.9
3. 地域包括支援センターのことは知らない	12 17.1	10 40.0	627 47.6	20 64.5
全体	70 100.0	25 100.0	1317 100.0	31 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』では「自分の地区を担当するセンターを知っている」が6割強(65.7%)を占めています。一方、『要支援2』と『非該当』では「地域包括支援センターのことは知らない」がそれぞれ40.0%、47.6%と高くなっています。

## 日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. 自分の地区を担当するセンターを知っている	138 31.4	131 25.2	163 33.1
2. 地域包括支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当するセンターがどこにあるのか知らない	106 24.1	133 25.6	108 22.0
3. 地域包括支援センターのことは知らない	195 44.4	255 49.1	221 44.9
全体	439 100.0	519 100.0	492 100.0

日常生活圏域別にみると、『北地区』と『南地区』では「自分の地区を担当するセンターを知っている」がいずれも約3割を占めています。一方、『中地区』では「地域包括支援センターのことは知らない」は約5割(49.1%)に上っています。

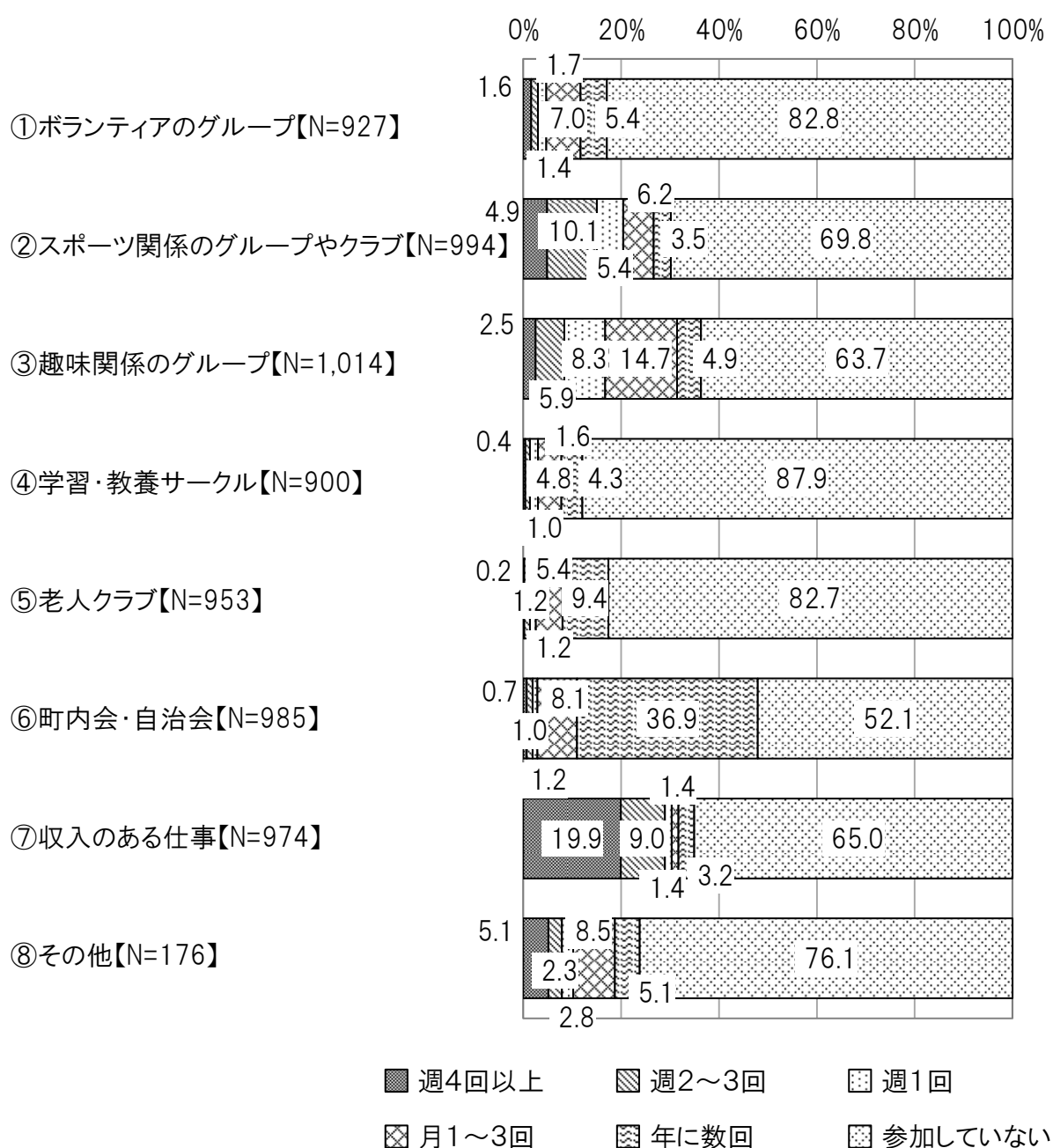
## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(〇はひとつずつ)

会・グループ等への参加については、「⑥町内会・自治会」へ『参加している』は合わせて47.9%と、約半数を占めています。また、「②スポーツ関係のグループやクラブ」や「③趣味関係のグループ」、「⑦収入のある仕事」への参加も比較的多く、『参加している』は30～40%あります。

一方、その他の会・グループでは「参加していない」と回答した人が70%を超えており、とくに、「①ボランティアのグループ」や「④学習・教養サークル」、「⑤老人クラブ」では80%を超えています。





(単位:%)

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ【N=927】	1.6	1.4	1.7	7.0	5.4	82.8
②スポーツ関係のグループやクラブ【N=994】	4.9	10.1	5.4	6.2	3.5	69.8
③趣味関係のグループ【N=1,014】	2.5	5.9	8.3	14.7	4.9	63.7
④学習・教養サークル【N=900】	0.4	1.0	1.6	4.8	4.3	87.9
⑤老人クラブ【N=953】	0.2	1.2	1.2	5.4	9.4	82.7
⑥町内会・自治会【N=985】	0.7	1.2	1.0	8.1	36.9	52.1
⑦収入のある仕事【N=974】	19.9	9.0	1.4	1.4	3.2	65.0
⑧その他【N=176】	5.1	2.8	2.3	8.5	5.1	76.1

## ⑦収入のある仕事

## 性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64歳以下			65~74歳			75~84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 週4回以上	-	-	-	95	61	156	13	9	22	1	-	1
	-	-	-	31.3	19.6	25.3	10.0	8.8	9.5	4.2	-	2.1
2. 週2~3回	-	-	-	35	31	66	8	4	12	4	-	4
	-	-	-	11.5	9.9	10.7	6.2	3.9	5.2	16.7	-	8.5
3. 週1回	-	-	-	7	5	12	1	-	1	-	-	-
	-	-	-	2.3	1.6	1.9	0.8	-	0.4	-	-	-
4. 月1~3回	-	-	-	2	6	8	1	3	4	-	-	-
	-	-	-	0.7	1.9	1.3	0.8	2.9	1.7	-	-	-
5. 年に数回	-	-	-	11	8	19	6	2	8	-	-	-
	-	-	-	3.6	2.6	3.1	4.6	2.0	3.4	-	-	-
6. 参加していない	1	-	1	154	201	355	101	84	185	19	23	42
	100.0	-	100.0	50.7	64.4	57.6	77.7	82.4	79.7	79.2	100.0	89.4
全体	1	-	1	304	312	616	130	102	232	24	23	47
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

「⑦収入のある仕事」について性・年齢別にみると、年齢、性別にかかわらず、「参加していない」が最も高くなっています。

『参加している』は、『65~74歳男』が49.4%、『65~74歳女』が35.6%と、他の性・年齢に比べて高くなっています。

### 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 週4回以上	20 17.4	83 19.3	22 37.3	53 19.2	12 15.4
2. 週2～3回	10 8.7	39 9.1	7 11.9	27 9.8	4 5.1
3. 週1回	1 0.9	7 1.6	- -	4 1.4	2 2.6
4. 月1～3回	1 0.9	6 1.4	2 3.4	4 1.4	1 1.3
5. 年に数回	1 0.9	12 2.8	4 6.8	11 4.0	2 2.6
6. 参加していない	82 71.3	283 65.8	24 40.7	177 64.1	57 73.1
全体	115 100.0	430 100.0	59 100.0	276 100.0	78 100.0

世帯状況別にみると、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「週4回以上」が37.3%あり、『参加している』は約6割(59.4)に上ります。他の世帯状況では、いずれも「参加していない」が60%を超えて高くなっています。

### 認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 週4回以上	- -	1 6.7	187 21.0	4 25.0
2. 週2～3回	- -	- -	84 9.4	2 12.5
3. 週1回	- -	- -	14 1.6	- -
4. 月1～3回	1 2.9	- -	12 1.3	- -
5. 年に数回	- -	- -	30 3.4	- -
6. 参加していない	34 97.1	14 93.3	564 63.3	10 62.5
全体	35 100.0	15 100.0	891 100.0	16 100.0

認定状況別にみると「参加していない」は『要支援1』では97.1%、『要支援2』では93.3%に上ります。一方、『非該当』では『参加している』が36.7%となっています。

## 居住地区別クロス

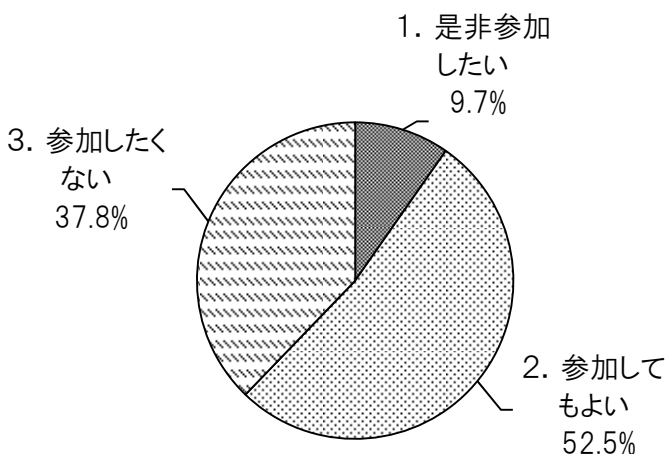
上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 週4回以上	14 19.7	7 17.1	11 22.4	4 9.8	9 15.8	8 18.6	20 20.6	8 15.4	6 35.3	- -	6 14.3	4 19.0
2. 週2～3回	5 7.0	5 12.2	1 2.0	5 12.2	5 8.8	1 2.3	8 8.2	2 3.8	1 5.9	3 33.3	5 11.9	- -
3. 週1回	1 1.4	- -	- -	- -	1 1.8	2 4.7	1 1.0	4 7.7	- -	- -	- -	- -
4. 月1～3回	2 2.8	1 2.4	1 2.0	- -	- -	- -	1 1.0	1 1.9	- -	- -	1 2.4	1 4.8
5. 年に数回	2 2.8	2 4.9	2 4.1	1 2.4	2 3.5	1 2.3	3 3.1	3 5.8	- -	2 22.2	3 7.1	- -
6. 参加して ない	47 66.2	26 63.4	34 69.4	31 75.6	40 70.2	31 72.1	64 66.0	34 65.4	10 58.8	4 44.4	27 64.3	16 76.2
全体	71 100.0	41 100.0	49 100.0	41 100.0	57 100.0	43 100.0	97 100.0	52 100.0	17 100.0	9 100.0	42 100.0	21 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 週4回以上	14 21.2	21 22.6	4 13.8	11 24.4	6 20.0	6 15.4	1 14.3	2 15.4	6 46.2	6 21.4	7 38.9	10 26.3
2. 週2～3回	5 7.6	11 11.8	6 20.7	4 8.9	4 13.3	1 2.6	2 28.6	3 23.1	1 7.7	1 3.6	3 16.7	4 10.5
3. 週1回	- -	1 1.1	- -	1 2.2	- -	1 2.6	- -	- -	- -	1 3.6	- -	1 2.6
4. 月1～3回	- -	2 2.2	- -	2 4.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 2.6
5. 年に数回	3 4.5	2 2.2	2 6.9	- -	2 6.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
6. 参加して ない	44 66.7	56 60.2	17 58.6	27 60.0	18 60.0	31 79.5	4 57.1	8 61.5	6 46.2	20 71.4	8 44.4	22 57.9
全体	66 100.0	93 100.0	29 100.0	45 100.0	30 100.0	39 100.0	7 100.0	13 100.0	13 100.0	28 100.0	18 100.0	38 100.0

居住地区別にみると、『参加している』は『小山田』『保々』『橋北』ではそれぞれ 55.5%、53.9%、55.6%と、50%を超えています。その他の地区では「参加していない」が最も高くなっています。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)  
【N=1,478】

健康づくり活動や趣味等のグループ活動による地域づくりに「是非参加したい」は9.7%、「参加してもよい」は52.5%と、合わせて約6割(62.2%)の人に参加の意思があります。  
一方、「参加したくない」は約4割(37.8%)となっています。



### 性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64歳以下			65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 是非参加したい	-	-	-	28	46	74	16	30	46	1	4	5
	-	-	-	7.6	11.1	9.5	7.4	13.6	10.6	2.0	6.8	4.6
2. 参加してもよい	-	-	-	192	225	417	136	108	244	19	20	39
	-	-	-	52.3	54.3	53.4	63.0	49.1	56.0	38.0	33.9	35.8
3. 参加したくない	1	-	1	147	143	290	64	82	146	30	35	65
	100.0	-	100.0	40.1	34.5	37.1	29.6	37.3	33.5	60.0	59.3	59.6
全体	1	-	1	367	414	781	216	220	436	50	59	109
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、参加意思のある人は65歳以上85歳未満の男女では過半数を占めており、とくに、『75～84歳男』では70.4%に上っています。

### 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 是非参加したい	26	57	4	43	10
	12.1	9.1	5.6	9.9	9.4
2. 参加してもよい	94	365	31	227	47
	43.7	58.5	43.1	52.1	44.3
3. 参加したくない	95	202	37	166	49
	44.2	32.4	51.4	38.1	46.2
全体	215	624	72	436	106
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

世帯状況別にみると、「参加したくない」は『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では51.4%と半数を占めていますが、それ以外の世帯状況ではいずれも参加意思のある人が過半数を占めています。

## 居住地区別クロス

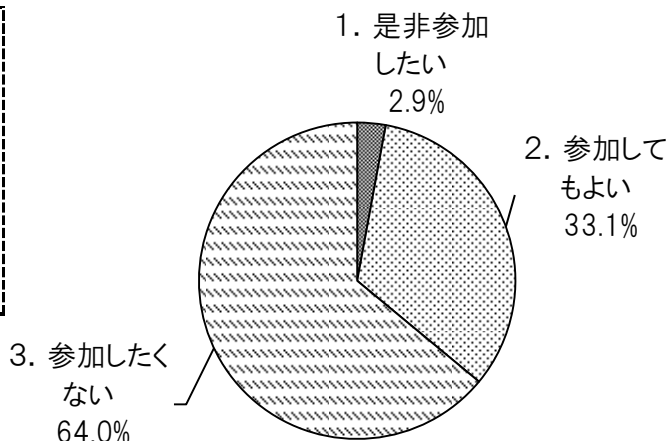
上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 是非参加 したい	14 12.7	4 7.0	7 9.7	7 10.8	5 6.3	12 17.6	6 4.6	5 6.8	3 9.4	2 8.7	5 8.1	6 15.4
2. 参加して もよい	52 47.3	28 49.1	35 48.6	35 53.8	46 58.2	29 42.6	77 59.2	34 45.9	18 56.3	13 56.5	33 53.2	17 43.6
3. 参加した くない	44 40.0	25 43.9	30 41.7	23 35.4	28 35.4	27 39.7	47 36.2	35 47.3	11 34.4	8 34.8	24 38.7	16 41.0
全体	110 100.0	57 100.0	72 100.0	65 100.0	79 100.0	68 100.0	130 100.0	74 100.0	32 100.0	23 100.0	62 100.0	39 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 是非参加 したい	8 9.1	20 13.1	5 11.6	5 8.2	3 7.1	9 12.7	1 7.7	- -	2 8.7	5 10.9	2 9.1	3 4.9
2. 参加して もよい	54 61.4	70 45.8	26 60.5	40 65.6	19 45.2	39 54.9	8 61.5	12 70.6	16 69.6	22 47.8	6 27.3	34 55.7
3. 参加した くない	26 29.5	63 41.2	12 27.9	16 26.2	20 47.6	23 32.4	4 30.8	5 29.4	5 21.7	19 41.3	14 63.6	24 39.3
全体	88 100.0	153 100.0	43 100.0	61 100.0	42 100.0	71 100.0	13 100.0	17 100.0	23 100.0	46 100.0	22 100.0	61 100.0

居住地区別にみると、「参加したくない」は『橋北』では約6割(63.6%)を占めていますが、それ以外の居住地区ではいずれも参加意思のある人が過半数を占めており、とくに、『桜』『県』『八郷』『水沢』『保々』では70%を超えています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)【N=1,730】

健康づくり活動や趣味等のグループ活動により地域づくりを進める際、企画・運営として「是非参加したい」が2.9%、「参加してもよい」は33.1%と、合わせて4割弱(36.0%)の人に参加の意思があります。  
一方、「参加したくない」は6割強(64.0%)となっています。



**居住地区別クロス**

上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 是非参加したい	3 2.7	1 1.8	2 2.7	1 1.5	1 1.3	4 6.0	1 0.8	1 1.4	1 3.1	1 4.5	- -	2 5.1
2. 参加してもよい	33 29.7	20 36.4	24 32.4	21 31.3	26 33.3	24 35.8	52 39.4	23 31.1	13 40.6	7 31.8	19 30.2	7 17.9
3. 参加したくない	75 67.6	34 61.8	48 64.9	45 67.2	51 65.4	39 58.2	79 59.8	50 67.6	18 56.3	14 63.6	44 69.8	30 76.9
全体	111 100.0	55 100.0	74 100.0	67 100.0	78 100.0	67 100.0	132 100.0	74 100.0	32 100.0	22 100.0	63 100.0	39 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 是非参加したい	3 3.6	6 3.9	1 2.3	1 1.6	1 2.3	4 5.7	- -	- -	- -	3 6.7	- -	2 3.3
2. 参加してもよい	34 40.5	49 32.2	15 34.9	29 47.5	11 25.6	18 25.7	4 30.8	3 20.0	11 47.8	18 40.0	5 21.7	12 19.7
3. 参加したくない	47 56.0	97 63.8	27 62.8	31 50.8	31 72.1	48 68.6	9 69.2	12 80.0	12 52.2	24 53.3	18 78.3	47 77.0
全体	84 100.0	152 100.0	43 100.0	61 100.0	43 100.0	70 100.0	13 100.0	15 100.0	23 100.0	45 100.0	23 100.0	61 100.0

居住地区別にみると、参加意思のある人は、『日永』『四郷』『塩浜』『桜』『八郷』『保々』『海蔵』では40%を超えています。

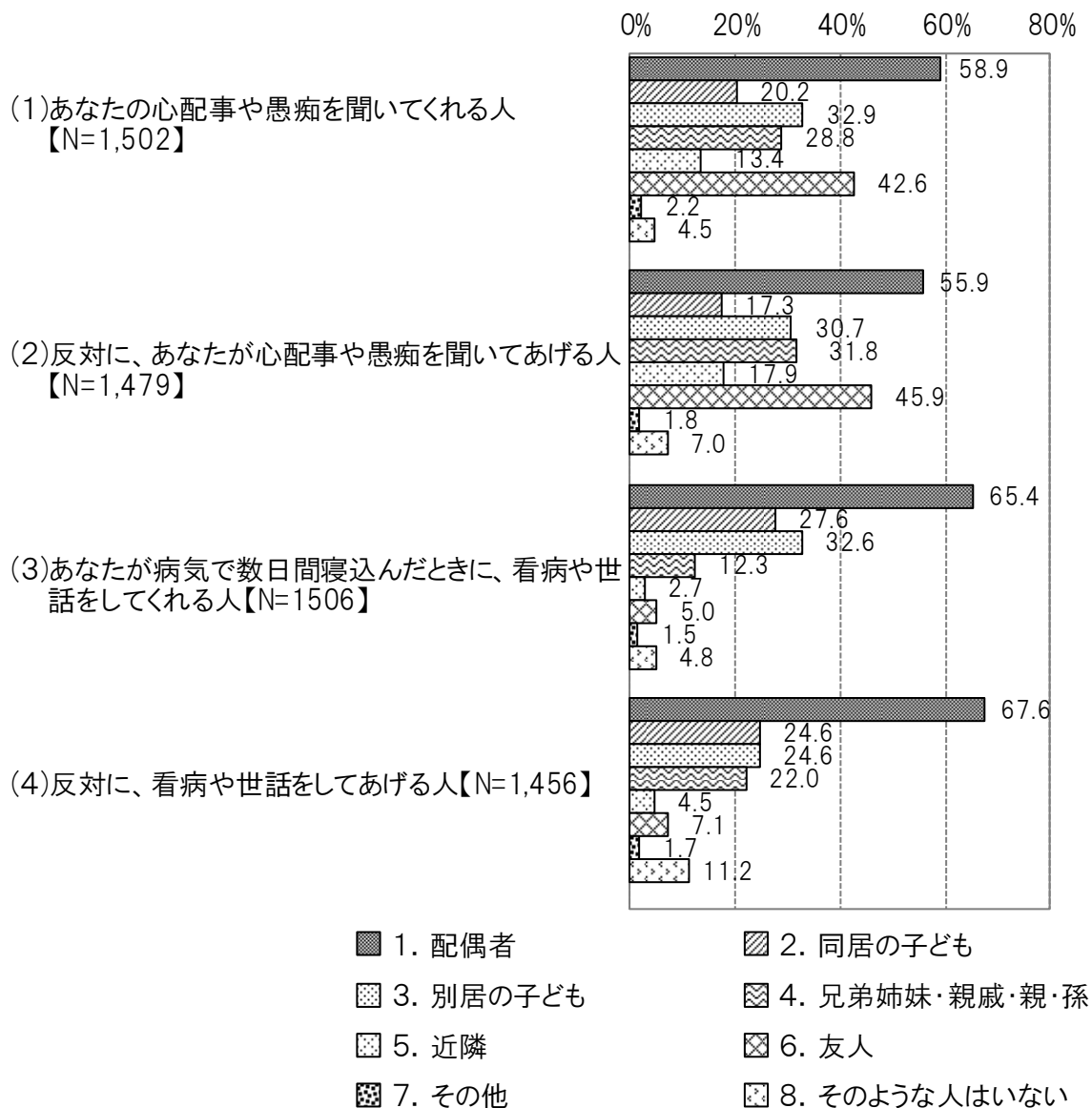
## 問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)
- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

「(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」と「(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」については、「配偶者」(58.9%、55.9%)が最も高く、次いで、「友人」(42.6%、45.9%)が続いています。

「(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」と「(4)反対に、看病や世話をしてあげる人」は、「配偶者」(65.4%、67.6%)が最も高く、次いで、「(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」では「別居の子ども」(32.6%)が、「(4)反対に、看病や世話をしてあげる人」では「同居の子ども」と「別居の子ども」が同率(24.6%)で続いています。



(単位:%)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
(1)あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人を教えてください。 【N=1,502】	58.9	20.2	32.9	28.8	13.4	42.6	2.2	4.5
(2)反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人を教えてください。 【N=1,479】	55.9	17.3	30.7	31.8	17.9	45.9	1.8	7.0
(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。 【N=1506】	65.4	27.6	32.6	12.3	2.7	5.0	1.5	4.8
(4)反対に、看病や世話をしてくれる人を教えてください。 【N=1,456】	67.6	24.6	24.6	22.0	4.5	7.1	1.7	11.2



## 居住地区別クロス

## (1)あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 配偶者	52 46.4	38 62.3	36 51.4	42 61.8	50 60.2	38 53.5	77 56.6	47 66.2	18 56.3	13 56.5	41 61.2	24 61.5
2. 同居の子ども	19 17.0	13 21.3	15 21.4	17 25.0	16 19.3	17 23.9	23 16.9	12 16.9	5 15.6	4 17.4	17 25.4	7 17.9
3. 別居の子ども	34 30.4	19 31.1	27 38.6	27 39.7	26 31.3	29 40.8	40 29.4	26 36.6	12 37.5	7 30.4	24 35.8	13 33.3
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	36 32.1	20 32.8	22 31.4	23 33.8	18 21.7	21 29.6	35 25.7	18 25.4	13 40.6	7 30.4	19 28.4	13 33.3
5. 近隣	10 8.9	8 13.1	10 14.3	8 11.8	10 12.0	7 9.9	14 10.3	11 15.5	6 18.8	1 4.3	6 9.0	8 20.5
6. 友人	54 48.2	19 31.1	32 45.7	36 52.9	26 31.3	36 50.7	59 43.4	23 32.4	17 53.1	10 43.5	27 40.3	15 38.5
7. その他	7 6.3	- -	2 2.9	1 1.5	3 3.6	1 1.4	2 1.5	1 1.4	1 3.1	- -	3 4.5	1 2.6
8. そのような人 はいない	5 4.5	2 3.3	4 5.7	2 2.9	6 7.2	4 5.6	6 4.4	5 7.0	2 6.3	- -	1 1.5	1 2.6
全体	112 100.0	61 100.0	70 100.0	68 100.0	83 100.0	71 100.0	136 100.0	71 100.0	32 100.0	23 100.0	67 100.0	39 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 配偶者	61 69.3	93 60.0	26 56.5	43 68.3	25 58.1	36 50.7	4 33.3	11 68.8	17 73.9	27 62.8	14 58.3	34 56.7
2. 同居の子ども	15 17.0	28 18.1	9 19.6	13 20.6	13 30.2	17 23.9	2 16.7	9 56.3	3 13.0	7 16.3	2 8.3	16 26.7
3. 別居の子ども	25 28.4	47 30.3	10 21.7	20 31.7	20 46.5	27 38.0	3 25.0	4 25.0	7 30.4	16 37.2	9 37.5	16 26.7
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	22 25.0	46 29.7	14 30.4	17 27.0	15 34.9	28 39.4	4 33.3	4 25.0	5 21.7	9 20.9	4 16.7	16 26.7
5. 近隣	10 11.4	31 20.0	8 17.4	7 11.1	3 7.0	13 18.3	3 25.0	2 12.5	4 17.4	1 2.3	3 12.5	12 20.0
6. 友人	34 38.6	61 39.4	18 39.1	29 46.0	18 41.9	38 53.5	6 50.0	5 31.3	12 52.2	18 41.9	5 20.8	29 48.3
7. その他	1 1.1	1 0.6	1 2.2	1 1.6	1 2.3	2 2.8	- -	- -	1 4.3	1 2.3	1 4.2	1 1.7
8. そのような人 はいない	7 8.0	7 4.5	2 4.3	2 3.2	3 7.0	1 1.4	2 16.7	- -	- -	2 4.7	1 4.2	2 3.3
全体	88 100.0	155 100.0	46 100.0	63 100.0	43 100.0	71 100.0	12 100.0	16 100.0	23 100.0	43 100.0	24 100.0	60 100.0

居住地区別にみると、『中部』『大矢知』『河原田』では「友人」が、それ以外の地区では全体結果と同様に「配偶者」が最も高くなっています。一方、『河原田』では「そのような人はいない」が16.7%(2人)あり、他の地区に比べて高くなっています。

(2)反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 配偶者	53 47.3	34 56.7	33 45.8	40 59.7	48 58.5	36 52.2	76 58.0	46 66.7	17 53.1	11 52.4	39 59.1	23 59.0
2. 同居の子ども	16 14.3	11 18.3	8 11.1	12 17.9	14 17.1	11 15.9	15 11.5	10 14.5	4 12.5	2 9.5	19 28.8	6 15.4
3. 別居の子ども	33 29.5	18 30.0	23 31.9	24 35.8	21 25.6	23 33.3	35 26.7	20 29.0	15 46.9	6 28.6	25 37.9	13 33.3
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	42 37.5	23 38.3	25 34.7	24 35.8	22 26.8	20 29.0	45 34.4	23 33.3	15 46.9	7 33.3	20 30.3	12 30.8
5. 近隣	17 15.2	10 16.7	11 15.3	10 14.9	12 14.6	8 11.6	21 16.0	13 18.8	8 25.0	3 14.3	11 16.7	8 20.5
6. 友人	58 51.8	20 33.3	36 50.0	38 56.7	40 48.8	39 56.5	58 44.3	20 29.0	16 50.0	9 42.9	31 47.0	17 43.6
7. その他	4 3.6	- -	- -	- -	2 2.4	3 4.3	4 3.1	- -	- -	- -	- -	2 5.1
8. そのような 人はいない	6 5.4	3 5.0	10 13.9	3 4.5	11 13.4	5 7.2	7 5.3	11 15.9	3 9.4	1 4.8	3 4.5	2 5.1
全体	112 100.0	60 100.0	72 100.0	67 100.0	82 100.0	69 100.0	131 100.0	69 100.0	32 100.0	21 100.0	66 100.0	39 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 配偶者	61 69.3	82 54.7	25 55.6	41 66.1	24 58.5	29 40.3	6 50.0	8 50.0	15 68.2	24 54.5	11 45.8	31 52.5
2. 同居の子ども	16 18.2	23 15.3	5 11.1	16 25.8	11 26.8	13 18.1	2 16.7	7 43.8	2 9.1	6 13.6	4 16.7	18 30.5
3. 別居の子ども	34 38.6	40 26.7	12 26.7	15 24.2	14 34.1	25 34.7	3 25.0	3 18.8	9 40.9	14 31.8	8 33.3	15 25.4
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	26 29.5	42 28.0	13 28.9	18 29.0	11 26.8	32 44.4	3 25.0	4 25.0	5 22.7	10 22.7	6 25.0	18 30.5
5. 近隣	20 22.7	33 22.0	10 22.2	12 19.4	5 12.2	14 19.4	4 33.3	3 18.8	4 18.2	3 6.8	8 33.3	12 20.3
6. 友人	35 39.8	68 45.3	19 42.2	30 48.4	17 41.5	35 48.6	6 50.0	6 37.5	14 63.6	18 40.9	7 29.2	29 49.2
7. その他	1 1.1	1 0.7	- -	1 1.6	3 7.3	1 1.4	- -	1 6.3	1 4.5	- -	- -	1 1.7
8. そのような 人はいない	6 6.8	11 7.3	4 8.9	1 1.6	2 4.9	4 5.6	1 8.3	1 6.3	- -	4 9.1	2 8.3	3 5.1
全体	88 100.0	150 100.0	45 100.0	62 100.0	41 100.0	72 100.0	12 100.0	16 100.0	22 100.0	44 100.0	24 100.0	59 100.0

居住地区別にみると、『中部』『富田』『日永』『大矢知』では「友人」が、『河原田』では「配偶者」と「友人」が同率で、それ以外の地区では全体結果と同様に「配偶者」が最も高くなっています。

## (3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 配偶者	56 50.0	36 60.0	43 59.7	44 64.7	56 67.5	41 57.7	87 64.4	51 71.8	22 64.7	15 68.2	42 62.7	27 71.1
2. 同居の子ども	28 25.0	19 31.7	21 29.2	23 33.8	19 22.9	19 26.8	29 21.5	21 29.6	7 20.6	5 22.7	22 32.8	9 23.7
3. 別居の子ども	37 33.0	19 31.7	24 33.3	30 44.1	25 30.1	29 40.8	42 31.1	22 31.0	13 38.2	5 22.7	18 26.9	15 39.5
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	20 17.9	9 15.0	13 18.1	5 7.4	11 13.3	10 14.1	13 9.6	12 16.9	2 5.9	5 22.7	6 9.0	5 13.2
5. 近隣	2 1.8	3 5.0	- -	- -	3 3.6	1 1.4	2 1.5	2 2.8	- -	- -	4 6.0	4 10.5
6. 友人	9 8.0	4 6.7	1 1.4	3 4.4	4 4.8	2 2.8	9 6.7	2 2.8	4 11.8	- -	3 4.5	3 7.9
7. その他	6 5.4	- -	- -	- -	1 1.2	- -	3 2.2	2 2.8	1 2.9	1 4.5	- -	- -
8. そのような 人はいない	5 4.5	3 5.0	2 2.8	4 5.9	6 7.2	5 7.0	6 4.4	3 4.2	3 8.8	1 4.5	3 4.5	1 2.6
全体	112 100.0	60 100.0	72 100.0	68 100.0	83 100.0	71 100.0	135 100.0	71 100.0	34 100.0	22 100.0	67 100.0	38 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 配偶者	70 78.7	106 68.8	29 63.0	45 71.4	28 65.1	44 60.3	7 53.8	12 75.0	18 78.3	30 68.2	16 69.6	40 66.7
2. 同居の子ども	24 27.0	35 22.7	15 32.6	17 27.0	14 32.6	20 27.4	3 23.1	8 50.0	6 26.1	13 29.5	6 26.1	22 36.7
3. 別居の子ども	20 22.5	44 28.6	13 28.3	16 25.4	19 44.2	31 42.5	3 23.1	4 25.0	9 39.1	17 38.6	10 43.5	17 28.3
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	8 9.0	16 10.4	7 15.2	7 11.1	2 4.7	14 19.2	2 15.4	2 12.5	2 8.7	3 6.8	2 8.7	7 11.7
5. 近隣	2 2.2	4 2.6	3 6.5	- -	2 4.7	3 4.1	- -	- -	1 4.3	- -	2 8.7	2 3.3
6. 友人	5 5.6	4 2.6	2 4.3	3 4.8	6 14.0	3 4.1	1 7.7	2 12.5	1 4.3	- -	1 4.3	2 3.3
7. その他	- -	- -	- -	2 3.2	2 4.7	2 2.7	- -	- -	1 4.3	- -	- -	1 1.7
8. そのような 人はいない	3 3.4	11 7.1	- -	4 6.3	1 2.3	4 5.5	1 7.7	- -	- -	1 2.3	1 4.3	3 5.0
全体	89 100.0	154 100.0	46 100.0	63 100.0	43 100.0	73 100.0	13 100.0	16 100.0	23 100.0	44 100.0	23 100.0	60 100.0

居住地区別にみると、全体結果と同様にいずれの居住地区でも「配偶者」が最も高くなっています。

#### (4)反対に、看病や世話をしあげる人

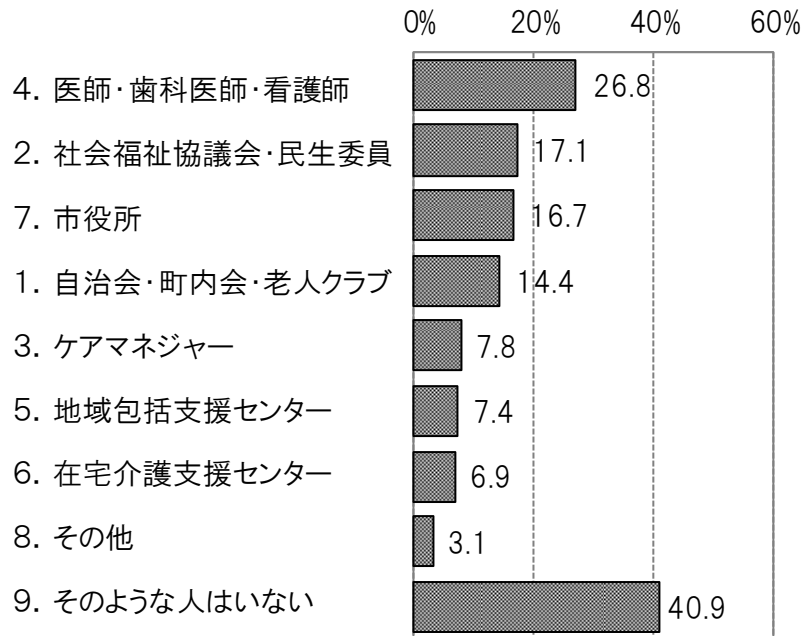
上段:度数 下段:%	中部	富洲原	富田	羽津	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	川島	神前
1. 配偶者	55 50.9	37 63.8	40 57.1	45 66.2	49 62.0	43 65.2	92 70.2	55 78.6	19 63.3	15 68.2	44 68.8	28 75.7
2. 同居の子ども	26 24.1	18 31.0	13 18.6	22 32.4	16 20.3	11 16.7	24 18.3	20 28.6	3 10.0	4 18.2	20 31.3	8 21.6
3. 別居の子ども	26 24.1	10 17.2	13 18.6	22 32.4	21 26.6	18 27.3	26 19.8	16 22.9	10 33.3	4 18.2	14 21.9	9 24.3
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	28 25.9	15 25.9	20 28.6	9 13.2	15 19.0	17 25.8	27 20.6	16 22.9	7 23.3	6 27.3	11 17.2	11 29.7
5. 近隣	6 5.6	3 5.2	- -	- -	3 3.8	2 3.0	7 5.3	1 1.4	2 6.7	- -	4 6.3	3 8.1
6. 友人	13 12.0	6 10.3	2 2.9	6 8.8	5 6.3	4 6.1	9 6.9	2 2.9	4 13.3	- -	3 4.7	2 5.4
7. その他	2 1.9	1 1.7	- -	- -	2 2.5	3 4.5	4 3.1	1 1.4	- -	1 4.5	1 1.6	1 2.7
8. そのような人 はいない	15 13.9	7 12.1	13 18.6	9 13.2	15 19.0	8 12.1	12 9.2	5 7.1	2 6.7	2 9.1	5 7.8	4 10.8
全体	108 100.0	58 100.0	70 100.0	68 100.0	79 100.0	66 100.0	131 100.0	70 100.0	30 100.0	22 100.0	64 100.0	37 100.0

上段:度数 下段:%	桜	三重	県	八郷	下野	大矢知	河原田	水沢	保々	海蔵	橋北	楠
1. 配偶者	71 79.8	96 63.6	31 70.5	50 79.4	29 70.7	45 66.2	8 66.7	11 68.8	20 87.0	28 63.6	15 75.0	40 69.0
2. 同居の子ども	24 27.0	27 17.9	9 20.5	17 27.0	16 39.0	22 32.4	2 16.7	6 37.5	3 13.0	14 31.8	5 25.0	20 34.5
3. 別居の子ども	20 22.5	34 22.5	9 20.5	14 22.2	9 22.0	31 45.6	2 16.7	2 12.5	7 30.4	12 27.3	7 35.0	16 27.6
4. 兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	17 19.1	30 19.9	9 20.5	12 19.0	9 22.0	21 30.9	2 16.7	1 6.3	6 26.1	5 11.4	5 25.0	18 31.0
5. 近隣	4 4.5	8 5.3	4 9.1	- -	2 4.9	5 7.4	- -	- -	3 13.0	- -	2 10.0	2 3.4
6. 友人	4 4.5	11 7.3	3 6.8	4 6.3	5 12.2	6 8.8	1 8.3	1 6.3	3 13.0	1 2.3	1 5.0	3 5.2
7. その他	- -	3 2.0	- -	- -	1 2.4	3 4.4	- -	- -	1 4.3	- -	- -	- -
8. そのような人 はいない	7 7.9	24 15.9	2 4.5	4 6.3	5 12.2	4 5.9	2 16.7	2 12.5	- -	5 11.4	1 5.0	8 13.8
全体	89 100.0	151 100.0	44 100.0	63 100.0	41 100.0	68 100.0	12 100.0	16 100.0	23 100.0	44 100.0	20 100.0	58 100.0

居住地区別にみると、全体結果と同様にいずれの居住地区でも「配偶者」が最も高くなっています。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(当てはまるものすべてに○)【N=1,414】

家族や友人・知人以外の相談相手について、「そのような人はいない」が40.9%で最も高くなっています。相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が26.8%で最も高く、次いで、「社会福祉協議会・民生委員」(17.1%)、「市役所」(16.7%)が続いています。



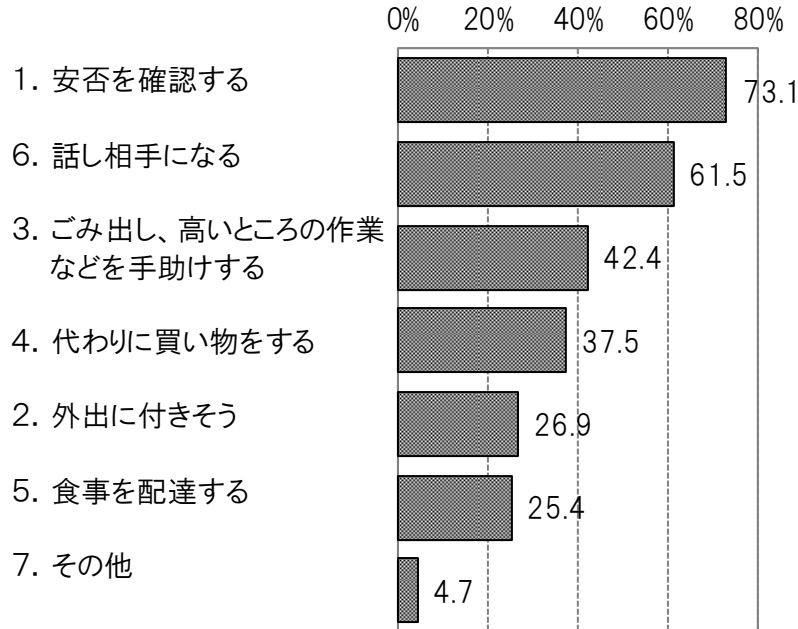
## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 自治会・町内会・老人クラブ	30 14.3	89 14.8	11 16.4	55 13.3	14 13.7
2. 社会福祉協議会・民生委員	53 25.2	92 15.3	7 10.4	65 15.8	17 16.7
3. ケアマネジャー	23 11.0	40 6.6	4 6.0	27 6.6	11 10.8
4. 医師・歯科医師・看護師	57 27.1	147 24.4	19 28.4	122 29.6	26 25.5
5. 地域包括支援センター	17 8.1	46 7.6	2 3.0	29 7.0	8 7.8
6. 在宅介護支援センター	15 7.1	37 6.1	2 3.0	31 7.5	9 8.8
7. 市役所	29 13.8	101 16.8	16 23.9	68 16.5	16 15.7
8. その他	8 3.8	17 2.8	- -	13 3.2	6 5.9
9. そのような人はいない	76 36.2	262 43.5	35 52.2	162 39.3	38 37.3
全体	210 100.0	602 100.0	67 100.0	412 100.0	102 100.0

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「そのような人はいない」が最も高く、とくに、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では52.2%に上ります。相談相手は全体結果と同様にいずれの世帯状況でも「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっていますが、『1人暮らし』では「社会福祉協議会・民生委員」(25.2%)が、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「市役所」(23.9%)が、それぞれ他の世帯状況に比べてとくに高くなっています。

(6) 介護や支援が必要な人の日常生活を手助けするために、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)【N=1,391】

介護や支援が必要な人の日常生活を手助けするために必要なことについては、「安否を確認する」が73.1%で最も高くなっています。次いで、「話し相手になる」(61.5%)、「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」(42.4%)、「代わりに買い物をする」(37.5%)などが続いています。



性・年齢別クロス

上段:度数 下段:%	64 歳以下			65～74 歳			75～84 歳			85 歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 安否を確認する	-	-	-	288	306	594	139	135	274	30	31	61
	-	-	-	80.7	76.3	78.4	70.6	66.2	68.3	66.7	60.8	63.5
2. 外出に付きそう	-	-	-	87	145	232	41	50	91	13	10	23
	-	-	-	24.4	36.2	30.6	20.8	24.5	22.7	28.9	19.6	24.0
3. ごみ出し、高いところの作業などを手助けする	-	-	-	161	195	356	80	71	151	19	17	36
	-	-	-	45.1	48.6	47.0	40.6	34.8	37.7	42.2	33.3	37.5
4. 代わりに買い物をする	-	-	-	110	208	318	47	65	112	17	21	38
	-	-	-	30.8	51.9	42.0	23.9	31.9	27.9	37.8	41.2	39.6
5. 食事を配達する	1	-	1	83	138	221	31	42	73	10	14	24
	100.0	-	100.0	23.2	34.4	29.2	15.7	20.6	18.2	22.2	27.5	25.0
6. 話し相手になる	1	-	1	186	292	478	108	126	234	28	28	56
	100.0	-	100.0	52.1	72.8	63.1	54.8	61.8	58.4	62.2	54.9	58.3
7. その他	1	-	1	16	15	31	11	8	19	1	5	6
	100.0	-	100.0	4.5	3.7	4.1	5.6	3.9	4.7	2.2	9.8	6.3
全体	1	-	1	357	401	758	197	204	401	45	51	96
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも全体結果と同様に「安否を確認する」が最も高く、「話し相手になる」が2番目に高くなっています。また、『65～74歳女』では、「外出に付きそう」(36.2%)と「代わりに買い物をする」(51.9%)が他の性・年齢に比べてとくに高くなっています。一方、『64歳以下男』では「食事を配達する」「話し相手になる」「その他」が同率(100.0%)となっています。

## 認定状況別クロス

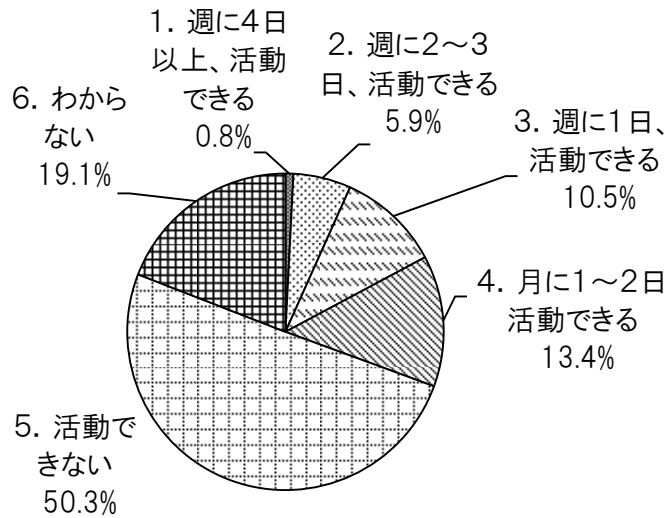
上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 安否を確認する	33 55.9	11 52.4	939 74.9	13 52.0
2. 外出に付きそう	18 30.5	10 47.6	335 26.7	5 20.0
3. ごみ出し、高いところの作業などを手助けする	22 37.3	12 57.1	535 42.7	6 24.0
4. 代わりに買い物をする	24 40.7	13 61.9	468 37.3	7 28.0
5. 食事を配達する	16 27.1	9 42.9	319 25.4	2 8.0
6. 話し相手になる	31 52.5	13 61.9	776 61.9	14 56.0
7. その他	5 8.5	2 9.5	54 4.3	2 8.0
全体	59 100.0	21 100.0	1254 100.0	25 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』と『非該当』では「安否を確認する」が、『要支援2』では「話し相手になる」がそれぞれ最も高くなっています。また、『要支援2』では、「外出に付きそう」(47.6%)が他の認定状況に比べてとくに高くなっています。



(7) あなたは、前問のような日常生活を手助けするボランティアとして、活動することはできますか。(〇はひとつ)【N=1,417】

ボランティアとして活動することができるかどうかについては、「活動できない」が約半数(50.3%)を占めています。「月に1～2日活動できる」(13.4%)や「週に1日、活動できる」(10.5%)などの『活動できる』人は合わせて約3割(30.6%)となっており、「活動できない」人が上回っています。



性・年齢別クロス

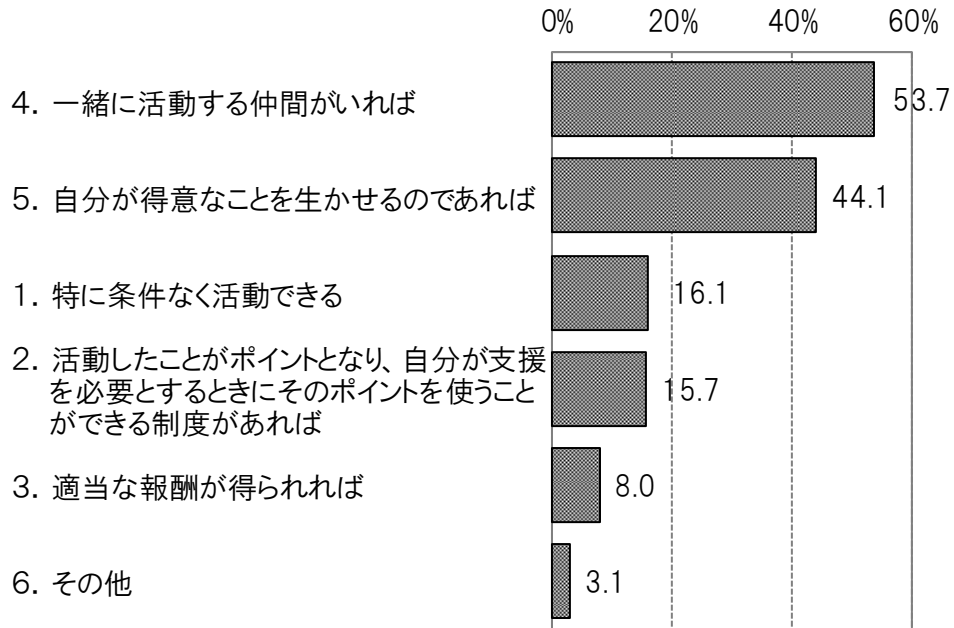
上段:度数 下段:%	64歳以下			65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 週に4日以上、活動できる	-	-	-	1	2	3	5	1	6	-	-	-
	-	-	-	0.3	0.5	0.4	2.5	0.5	1.5	-	-	-
2. 週に2～3日、活動できる	-	-	-	24	23	47	17	7	24	4	-	4
	-	-	-	6.7	5.6	6.1	8.5	3.4	5.9	8.0	-	3.8
3. 週に1日、活動できる	-	-	-	44	51	95	20	21	41	4	-	4
	-	-	-	12.3	12.4	12.3	10.0	10.3	10.1	8.0	-	3.8
4. 月に1～2日活動できる	-	-	-	53	64	117	32	22	54	1	1	2
	-	-	-	14.8	15.6	15.2	15.9	10.8	13.3	2.0	1.8	1.9
5. 活動できない	1	-	1	158	179	337	85	131	216	37	50	87
	100.0	-	100.0	44.0	43.6	43.8	42.3	64.2	53.3	74.0	90.9	82.9
6. わからない	-	-	-	79	92	171	42	22	64	4	4	8
	-	-	-	22.0	22.4	22.2	20.9	10.8	15.8	8.0	7.3	7.6
全体	1	-	1	359	411	770	201	204	405	50	55	105
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢でも「活動できない」が最も高くなっており、とくに、『85歳以上女』では90.9%に上ります。  
また、『活動できる』人は『65～74歳』男女と『75～84歳男』では30%を超えています。

**【(7)で「1. 週に4日以上、活動できる」「2. 週に2～3日、活動できる」「3. 週に1日、活動できる」「4. 月に1～2日活動できる」を選んだ人に伺います。】**

**(7)-① どのような条件が整えば、進んでボランティア活動に参加すると思いますか。(当てはまるものすべてに○)【N=415】**

どのような条件が整えばボランティア活動に参加するかについては、「一緒に活動する仲間がいれば」が53.7%で最も高く、次いで、「自分が得意なことを生かせるのであれば」が44.1%が続いています。一方、「特に条件なく活動できる」と回答した人は16.1%あります。



## 性・年齢別クロス

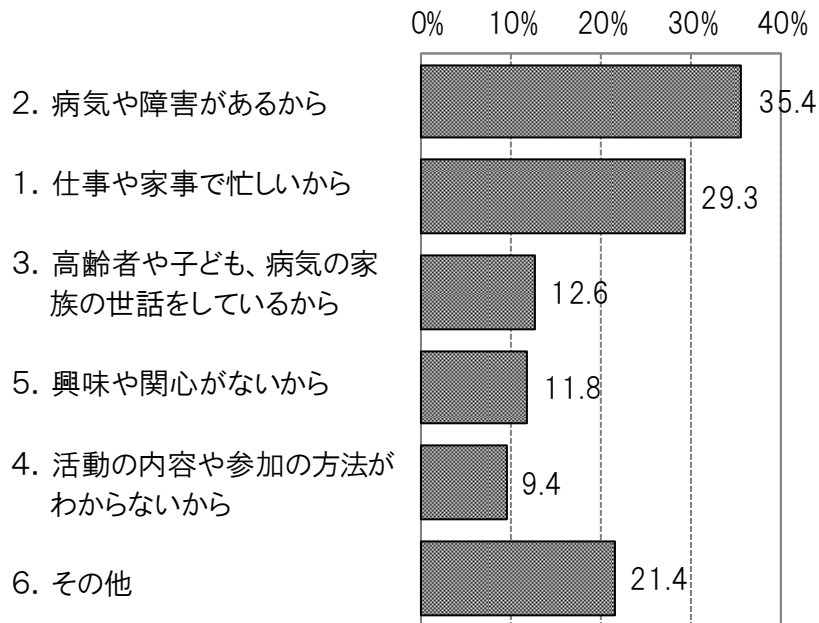
上段:度数 下段:%	64歳以下			65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 特に条件なく活動できる	-	-	-	23	19	42	14	5	19	2	1	3
	-	-	-	20.2	14.3	17.0	19.2	10.0	15.4	25.0	100.0	33.3
2. 活動したことがポイントとなり、自分が支援を必要とするときにそのポイントを使うことができる制度(ボランティア・ポイント制)があれば	-	-	-	14	22	36	7	14	21	-	-	-
	-	-	-	12.3	16.5	14.6	9.6	28.0	17.1	-	-	-
3. 適当な報酬が得られれば	-	-	-	7	16	23	1	5	6	-	-	-
	-	-	-	6.1	12.0	9.3	1.4	10.0	4.9	-	-	-
4. 一緒に活動する仲間がいれば	-	-	-	55	68	123	42	34	76	4	-	4
	-	-	-	48.2	51.1	49.8	57.5	68.0	61.8	50.0	-	44.4
5. 自分が得意なことを生かせるのであれば	-	-	-	56	53	109	29	21	50	5	-	5
	-	-	-	49.1	39.8	44.1	39.7	42.0	40.7	62.5	-	55.6
6. その他	-	-	-	2	7	9	2	1	3	-	-	-
	-	-	-	1.8	5.3	3.6	2.7	2.0	2.4	-	-	-
全体	-	-	-	114	133	247	73	50	123	8	1	9
	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、『65～74歳男』と『85歳以上男』では「自分が得意なことを生かせるのであれば」が、『85歳以上女』では「特に条件なく活動できる」が、その他の性・年齢ではいずれも全体結果と同様に「一緒に活動する仲間がいれば」が最も高くなっています。

**【(7)で「5. 活動できない」を選んだ人に伺います。】**

**(7)-② なぜ、活動できないのですか。(当てはまるものすべてに○)【N=692】**

活動できない理由は、「病気や障害があるから」が 35.4%で最も高く、次いで、「仕事や家事で忙しいから」が 29.3%で続いています。  
 一方、「活動の内容や参加の方法がわからないから」が 9.4%あり、本来は活動意向があると考えられるため、対処が必要であると言えます。



**性・年齢別クロス**

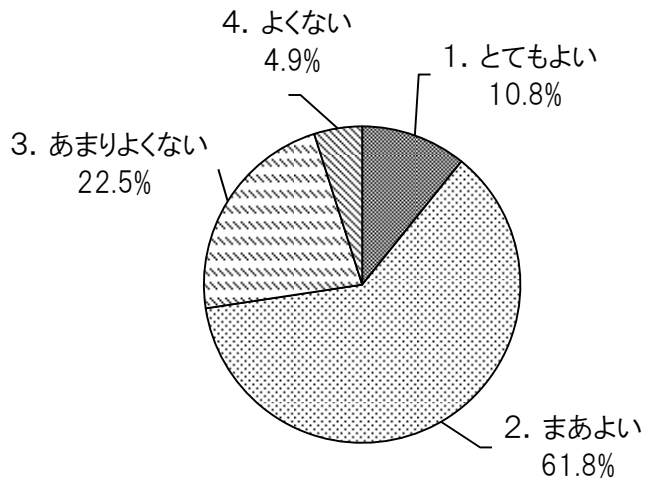
上段:度数 下段:%	64歳以下			65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
1. 仕事や家事で忙しいから	-	-	-	78	62	140	11	25	36	3	6	9
	-	-	-	50.0	35.2	42.2	13.6	19.7	17.3	8.6	13.0	11.1
2. 病気や障害があるから	1	-	1	28	54	82	45	52	97	19	20	39
	100.0	-	100.0	17.9	30.7	24.7	55.6	40.9	46.6	54.3	43.5	48.1
3. 高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから	-	-	-	11	39	50	8	14	22	2	4	6
	-	-	-	7.1	22.2	15.1	9.9	11.0	10.6	5.7	8.7	7.4
4. 活動の内容や参加の方法がわからないから	-	-	-	18	19	37	6	10	16	1	4	5
	-	-	-	11.5	10.8	11.1	7.4	7.9	7.7	2.9	8.7	6.2
5. 興味や関心がないから	-	-	-	27	16	43	9	14	23	3	9	12
	-	-	-	17.3	9.1	13.0	11.1	11.0	11.1	8.6	19.6	14.8
6. その他	-	-	-	25	35	60	14	34	48	16	12	28
	-	-	-	16.0	19.9	18.1	17.3	26.8	23.1	45.7	26.1	34.6
全体	1	-	1	156	176	332	81	127	208	35	46	81
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

性・年齢別にみると、『65～74歳』男女では「仕事や家事で忙しいから」が最も高く、その他の性・年齢では全体結果と同様に「病気や障害があるから」が最も高くなっています。

## 問7 健康について

### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)【N=1,512】

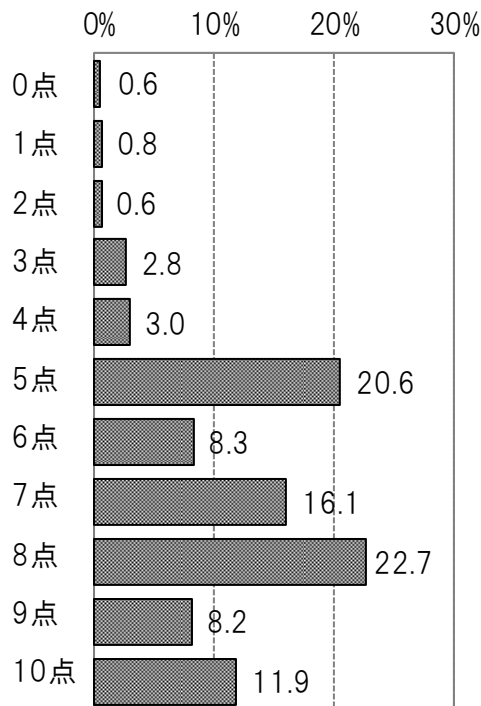
健康状態については、「とてもよい」(10.8%)、「まあよい」(61.8%)と回答した、『健康だと思っている人』が72.6%に上っています。  
一方、「あまりよくない」(22.5%)、「よくない」(4.9%)と回答した、『健康ではないと思っている人』は27.4%となっています。



### (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○を付けてください)【N=1,481】

現在の幸福感については、「8点」が22.7%で最も高く、次いで、「5点」(20.6%)、「7点」(16.1%)と続いています。「6点」以上は合わせて67.2%、「5点」以下は28.4%と、幸福感は高めであると言えます。

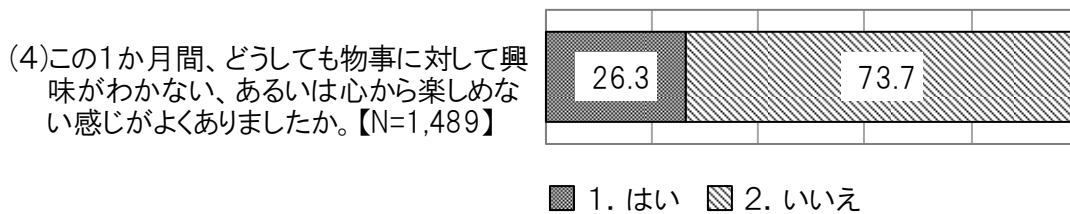
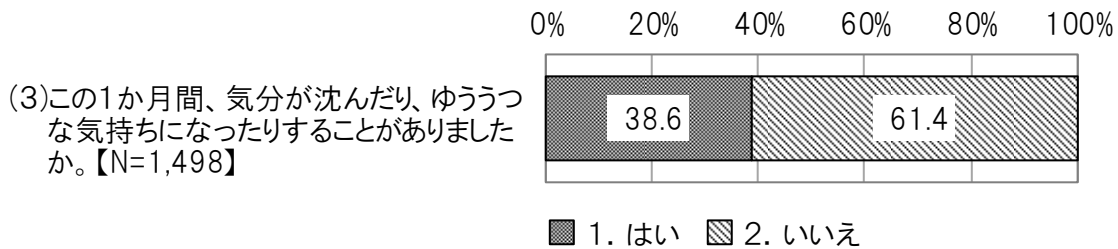


※「幸福感」に関する要因分析は巻末に記載

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

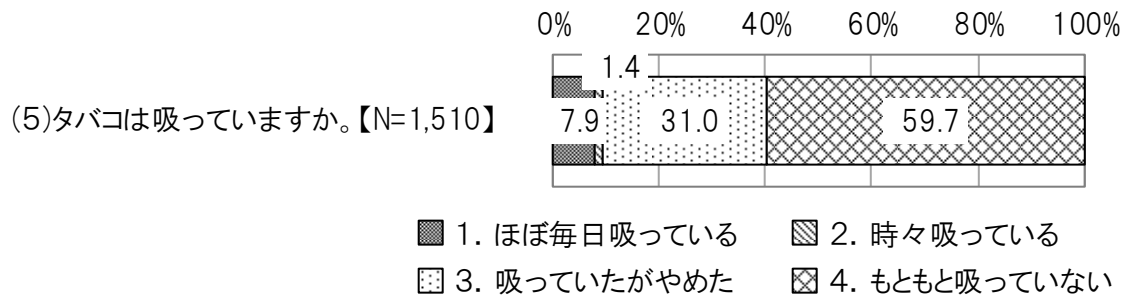
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人は約4割(38.6%)となっています。また、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人は3割弱(26.3%)となっています。



(5) タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

タバコを「ほぼ毎日吸っている」(7.9%)、「時々吸っている」(1.4%)と回答した喫煙習慣のある人は合わせて約1割(9.3%)となっています。



**(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(当てはまるものすべてに○)【N=1,483】**

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が42.5%で最も高く、次いで、「目の病気」(22.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(16.7%)が続いています。

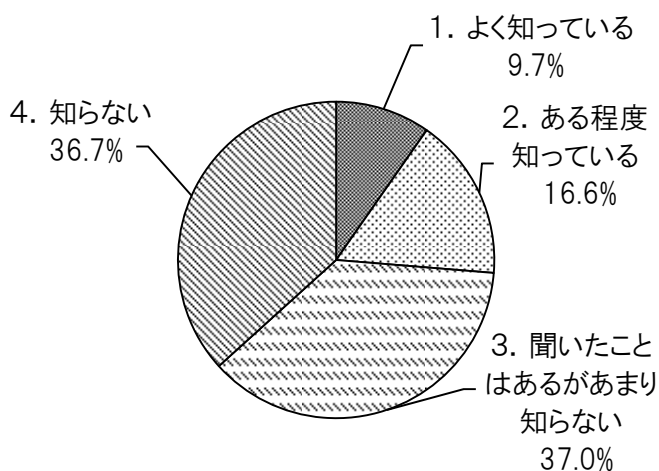
一方、「ない」と回答した人は15.0%となっています。



## 問8 在宅医療や認知症対策について

(1) 通院が困難な方へ医師が診療計画を立て、定期的な診療を行う「訪問診療」という制度を知っていますか。(急病になったときに医師に来てもらう「往診」とは別です。)(〇はひとつ)【N=1,476】

「訪問診療」について、「知らない」、「聞いたことはあるがあまり知らない」を合わせると7割強(73.7%)を占めており、「訪問診療」の認知度は低いと言えます。  
一方、「よく知っている」(9.7%)と「ある程度知っている」(16.6%)を合わせた『知っている』は3割弱(26.3%)となっています。



### 日常生活圏域別クロス

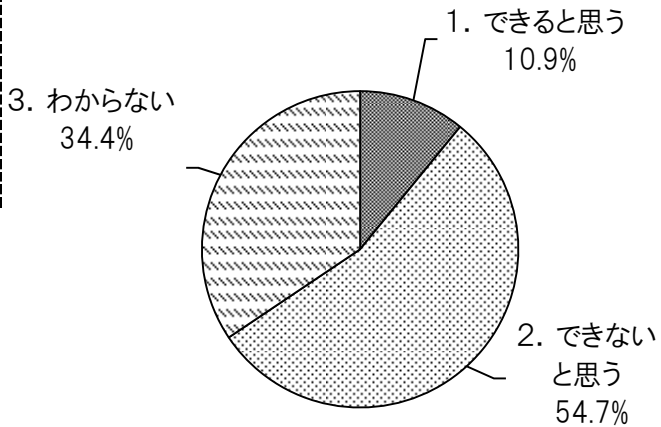
上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. よく知っている	44 10.0	54 10.4	42 8.6
2. ある程度知っている	69 15.8	78 15.0	92 18.7
3. 聞いたことはあるがあまり知らない	160 36.5	187 36.0	187 38.1
4. 知らない	165 37.7	200 38.5	170 34.6
全体	438 100.0	519 100.0	491 100.0

日常生活圏域別にみると、いずれも全体結果と同様に『知っている』は3割弱となっており、圏域による差はあまりありません。



(2) あなた、またはあなたのご家族が介護を必要とし、さらに、治る見込みのない病気になった場合、自宅で最期まで療養することができますか。(〇はひとつ)【N=1,462】

家族が自宅で最期まで療養することができるかどうかについては、「できないと思う」が過半数(54.7%)を占めています。「できると思う」は約1割(10.9%)と少なくなっています。



**世帯状況別クロス**

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. できると思う	9 4.4	67 10.7	6 8.3	64 14.7	11 10.6
2. できないと思う	141 69.5	331 53.0	34 47.2	224 51.5	58 55.8
3. わからない	53 26.1	227 36.3	32 44.4	147 33.8	35 33.7
全体	203 100.0	625 100.0	72 100.0	435 100.0	104 100.0

世帯状況別にみると、いずれも「できないと思う」が最も高くなっています。一方、『息子・娘との2世帯』では「できると思う」が14.7%あり、他の世帯状況に比べて高くなっています。

**日常生活圏域別クロス**

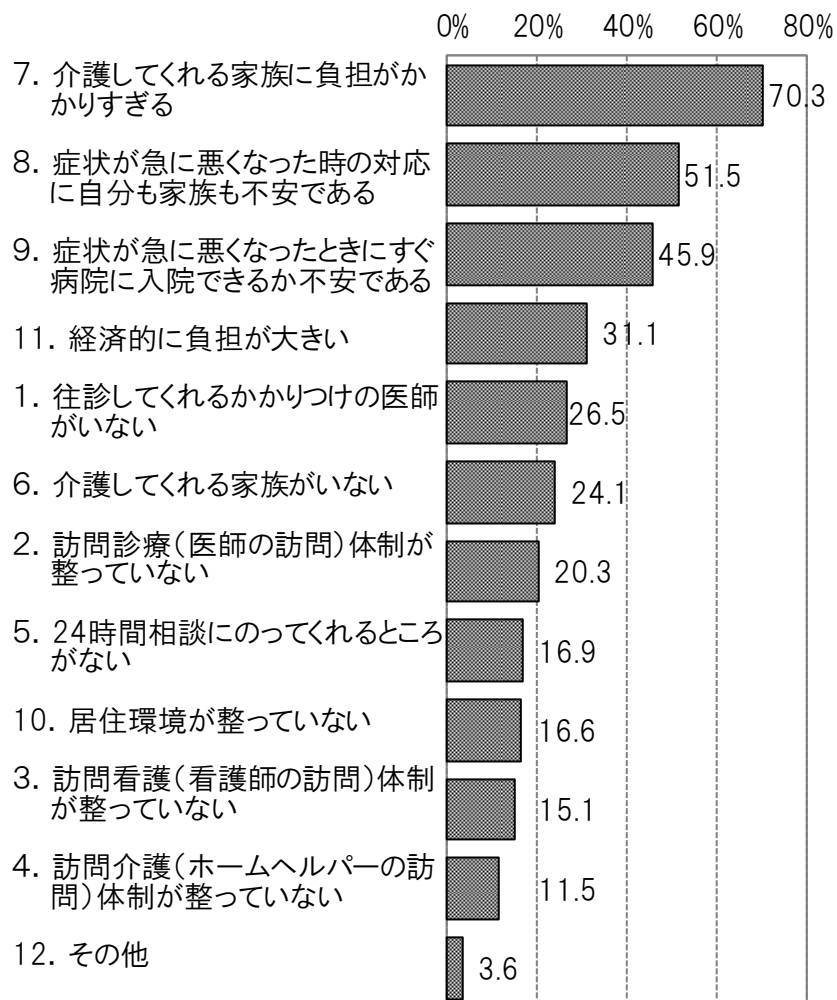
上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. できると思う	54 12.4	49 9.6	55 11.2
2. できないと思う	248 56.8	277 54.4	261 53.2
3. わからない	135 30.9	183 36.0	175 35.6
全体	437 100.0	509 100.0	491 100.0

日常生活圏域別にみると、全体結果と同様にいずれも「できないと思う」が最も高くなっており、圏域による差はあまりありません。

**【(2)で「2. できないと思う」を選んだ人に伺います。】**

(2)-① 自宅で最期まで療養することができないと思う理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○)【N=788】

できないと思う理由は、「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が70.3%で最も高く、次いで、「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」(51.5%)、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」(45.9%)が続いています。



## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 往診してくれるかか りつけの医師がいない	39 27.9	77 23.6	12 35.3	63 28.4	16 28.6
2. 訪問診療(医師の 訪問)体制が整って いない	35 25.0	64 19.6	9 26.5	41 18.5	11 19.6
3. 訪問看護(看護師 の訪問)体制が整っ ていない	27 19.3	47 14.4	4 11.8	31 14.0	10 17.9
4. 訪問介護(ホーム ヘルパーの訪問)体 制が整っていない	22 15.7	38 11.7	1 2.9	22 9.9	8 14.3
5. 24時間相談にの つてくれるところがない	23 16.4	59 18.1	3 8.8	32 14.4	15 26.8
6. 介護してくれる家族 がいない	78 55.7	71 21.8	6 17.6	20 9.0	13 23.2
7. 介護してくれる家族 に負担がかかりすぎる	61 43.6	240 73.6	25 73.5	179 80.6	40 71.4
8. 症状が急に悪くな った時の対応に自分も家 族も不安である	50 35.7	198 60.7	13 38.2	115 51.8	25 44.6
9. 症状が急に悪くな ったときにすぐ病院に入 院できるか不安である	62 44.3	159 48.8	10 29.4	104 46.8	22 39.3
10. 居住環境が整っ ていない	19 13.6	50 15.3	8 23.5	42 18.9	11 19.6
11. 経済的に負担が 大きい	41 29.3	94 28.8	7 20.6	74 33.3	28 50.0
12. その他	6 4.3	10 3.1	2 5.9	8 3.6	2 3.6
全体	140 100.0	326 100.0	34 100.0	222 100.0	56 100.0

世帯状況別にみると、『1人暮らし』では「介護してくれる家族がいない」が最も高く、その他の世帯状況ではいずれも全体結果と同様に「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が最も高くなっています。また、『その他』では「経済的に負担が大きい」が50.0%と、他の世帯状況に比べてとくに高くなっています。

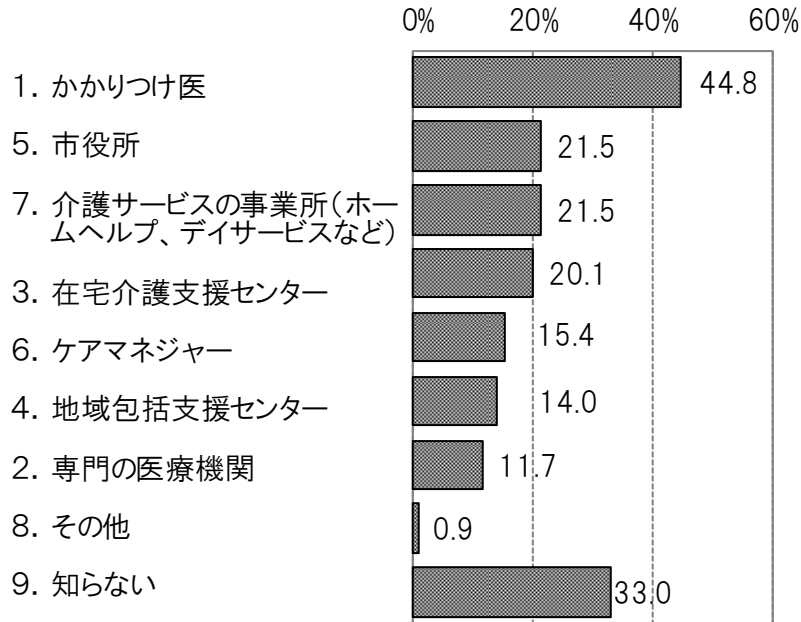
## 日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. 往診してくれるかかりつけの医師がいない	69 28.5	69 25.0	68 26.4
2. 訪問診療(医師の訪問)体制が整っていない	52 21.5	62 22.5	45 17.4
3. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない	40 16.5	44 15.9	35 13.6
4. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない	29 12.0	38 13.8	24 9.3
5. 24時間相談にのってくれるところがない	47 19.4	51 18.5	33 12.8
6. 介護してくれる家族がいない	57 23.6	61 22.1	69 26.7
7. 介護してくれる家族に負担がかかりすぎる	163 67.4	189 68.5	192 74.4
8. 症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である	126 52.1	149 54.0	124 48.1
9. 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である	109 45.0	138 50.0	108 41.9
10. 居住環境が整っていない	43 17.8	46 16.7	41 15.9
11. 経済的に負担が大きい	79 32.6	95 34.4	70 27.1
12. その他	10 4.1	10 3.6	8 3.1
全体	242 100.0	276 100.0	258 100.0

日常生活圏域別にみると、全体結果と同様にいずれも「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が最も高く、次いで、「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」、「症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安である」が続いており、圏域による差はあまりありません。

(3) 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○)【N=1,390】

在宅医療に関する相談窓口については、「かかりつけ医」が44.8%で最も高く、次いで、「市役所」と「介護サービスの事業所(ホームヘルプ、デイサービスなど)」が同率(21.5%)が続いています。一方、「知らない」は33.0%となっています。



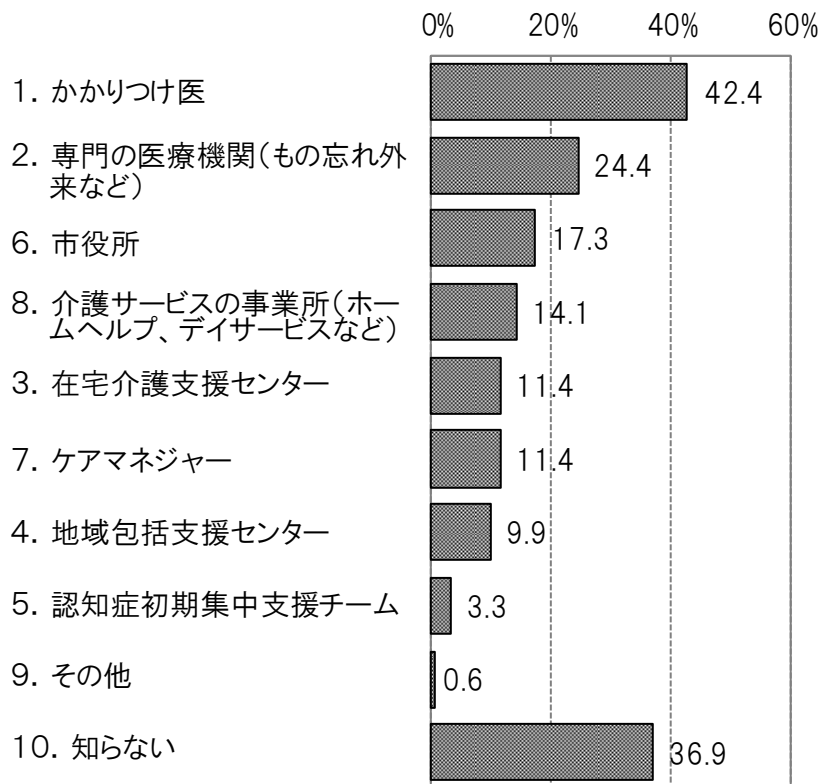
日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. かかりつけ医	180 44.3	230 46.7	201 43.3
2. 専門の医療機関	46 11.3	63 12.8	49 10.6
3. 在宅介護支援センター	85 20.9	93 18.9	94 20.3
4. 地域包括支援センター	58 14.3	71 14.4	63 13.6
5. 市役所	80 19.7	118 23.9	96 20.7
6. ケアマネジャー	70 17.2	80 16.2	60 12.9
7. 介護サービスの事業所(ホームヘルプ、デイサービスなど)	91 22.4	101 20.5	101 21.8
8. その他	6 1.5	4 0.8	3 0.6
9. 知らない	125 30.8	167 33.9	158 34.1
全体	406 100.0	493 100.0	464 100.0

日常生活圏域別にみると、知っている相談窓口は、いずれも全体結果と同様に「かかりつけ医」が最も高くなっています。また、『北地区』と『南地区』では「介護サービスの事業所(ホームヘルプ、デイサービスなど)」が、『中地区』では「市役所」が2番目に高くなっています。

(4) 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○)【N=1,442】

認知症に関する相談窓口については、「かかりつけ医」が42.4%で最も高く、次いで、「専門の医療機関(もの忘れ外来など)」(24.4%)、「市役所」(17.3%)が続いています。一方、「知らない」は36.9%となっています。



## 日常生活圏域別クロス

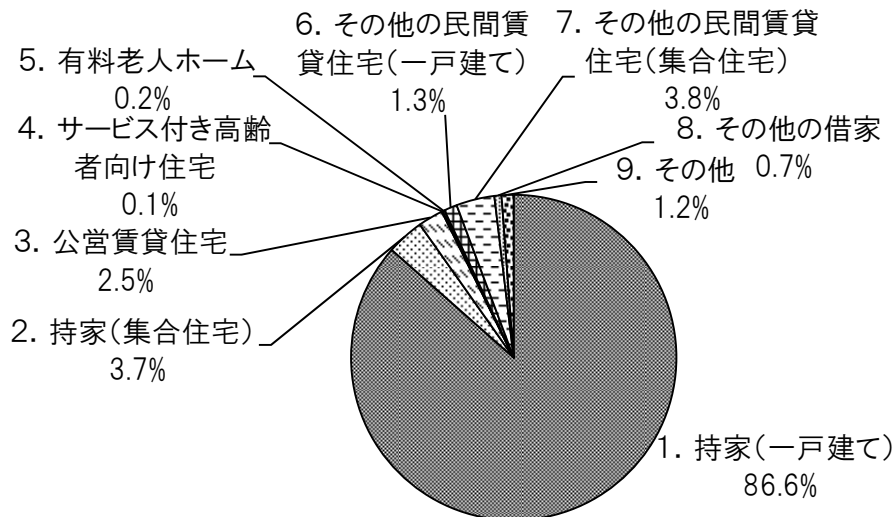
上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. かかりつけ医	185 43.7	212 41.8	204 41.9
2. 専門の医療機関(もの忘れ外来など)	91 21.5	111 21.9	143 29.4
3. 在宅介護支援センター	47 11.1	58 11.4	56 11.5
4. 地域包括支援センター	44 10.4	50 9.9	45 9.2
5. 認知症初期集中支援チーム	12 2.8	17 3.4	17 3.5
6. 市役所	75 17.7	87 17.2	83 17.0
7. ケアマネジャー	50 11.8	58 11.4	54 11.1
8. 介護サービスの事業所(ホームヘルプ、デイサービスなど)	57 13.5	68 13.4	76 15.6
9. その他	3 0.7	1 0.2	5 1.0
10. 知らない	158 37.4	203 40.0	162 33.3
全体	423 100.0	507 100.0	487 100.0

日常生活圏域別にみると、いずれも全体結果と同様に「かかりつけ医」が最も高く、次いで、「専門の医療機関(もの忘れ外来など)」、「市役所」の順で続いています。一方、「知らない」は『中地区』で40.0%あり、他の圏域に比べて若干高くなっています。

## 問9 これからの高齢者介護について

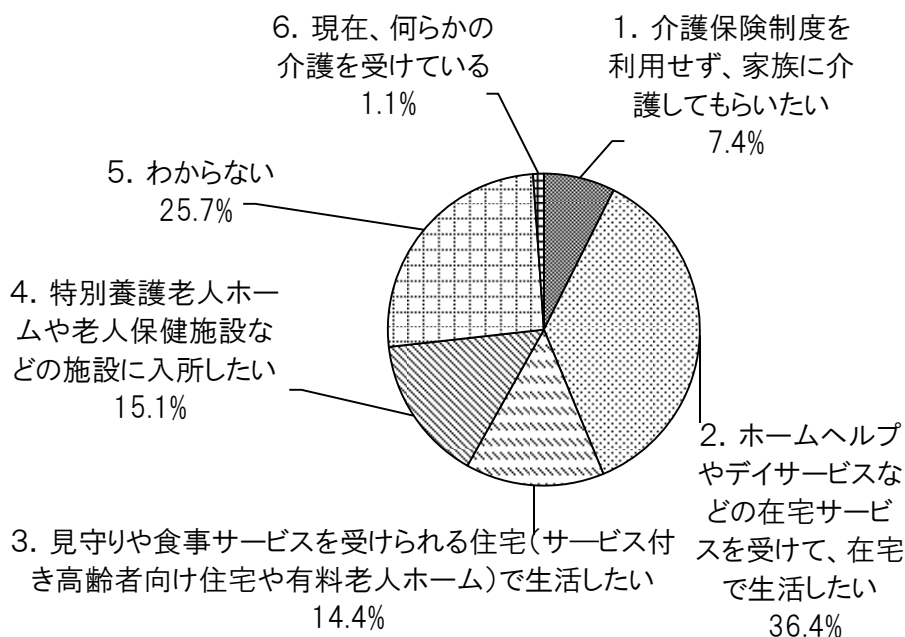
### (1) 現在のお住まいは次のどれですか。(〇はひとつ)【N=1,491】

現在の住まいについては、「持家(一戸建て)」が約9割(86.6%)を占めており、「その他の民間賃貸住宅(集合住宅)」(3.8%)や「持家(集合住宅)」(3.7%)などはいずれも僅かとなっています。



### (2) あなたは、今後、もし介護が必要になった時、どのように介護してほしいとお考えですか。(〇はひとつ)【N=1,414】

介護が必要になった時の介護スタイルについては、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が4割弱(36.4%)を占めています。一方、「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」は7.4%となっています。





## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい	7 3.5	41 6.8	7 10.1	42 10.0	4 4.0
2. ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい	58 29.1	242 40.2	15 21.7	158 37.7	31 31.0
3. 見守りや食事サービスを受けられる住宅(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム)で生活したい	41 20.6	84 14.0	7 10.1	52 12.4	15 15.0
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	41 20.6	87 14.5	14 20.3	52 12.4	18 18.0
5. わからない	45 22.6	145 24.1	25 36.2	114 27.2	29 29.0
6. 現在、何らかの介護を受けている	7 3.5	3 0.5	1 1.4	1 0.2	3 3.0
全体	199 100.0	602 100.0	69 100.0	419 100.0	100 100.0

世帯状況別にみると、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「わからない」が最も高くなっていますが、その他の世帯状況ではいずれも全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』と『息子・娘との2世帯』では「介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」が1割(10.1%、10.0%)あり、他の世帯状況に比べて若干高くなっています。

## 認定状況別クロス

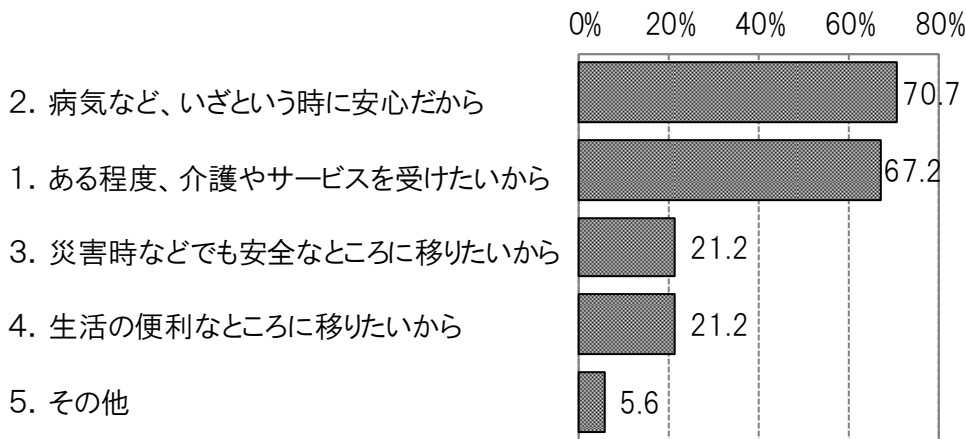
上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい	6 9.0	2 9.5	92 7.3	1 3.6
2. ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい	21 31.3	4 19.0	468 37.0	7 25.0
3. 見守りや食事サービスを受けられる住宅(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム)で生活したい	11 16.4	3 14.3	176 13.9	6 21.4
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい	9 13.4	3 14.3	198 15.7	1 3.6
5. わからない	14 20.9	4 19.0	328 25.9	12 42.9
6. 現在、何らかの介護を受けている	6 9.0	5 23.8	2 0.2	1 3.6
全体	67 100.0	21 100.0	1264 100.0	28 100.0

認定状況別にみると、『要支援1』と『非該当』では全体結果と同様に「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が最も高くなっています。一方、『要支援2』では「現在、何らかの介護を受けている」が23.8%で最も高くなっています。

【(2)で「3. 見守りや食事サービスを受けられる住宅(サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム)で生活したい」を選んだ人に伺います。】

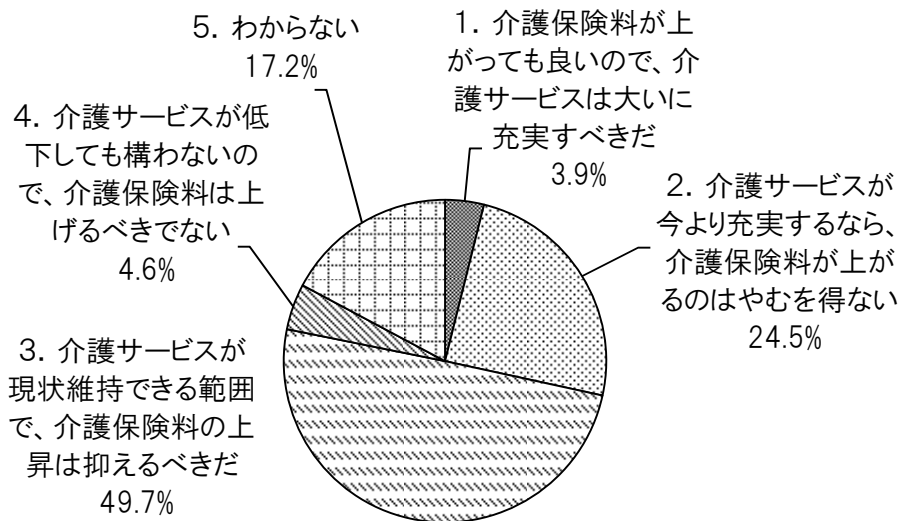
(2)-① その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)【N=198】

見守りや食事サービスを受けられる住宅で生活したい理由は、「病気など、いざという時に安心だから」が70.7%で最も高く、次いで、「ある程度、介護やサービスを受けたいから」が67.2%で続いています。



(3) 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり上昇することが予測されています。介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。(○はひとつ)【N=1,377】

介護サービスと介護保険料とのバランスについては、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇を抑えるべきだ」が約半数(49.7%)を占めています。次いで、「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が2割強(24.5%)で続いています。



**世帯状況別クロス**

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ	13 6.5	17 2.9	2 3.1	18 4.5	3 3.0
2. 介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	49 24.6	149 25.4	15 23.1	90 22.4	26 25.7
3. 介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	89 44.7	312 53.2	29 44.6	201 50.0	44 43.6
4. 介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきでない	10 5.0	22 3.7	3 4.6	20 5.0	7 6.9
5. わからない	38 19.1	87 14.8	16 24.6	73 18.2	21 20.8
全体	199 100.0	587 100.0	65 100.0	402 100.0	101 100.0

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が最も高くなっており、とくに『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』と『息子・娘との2世帯』では半数を占めています。

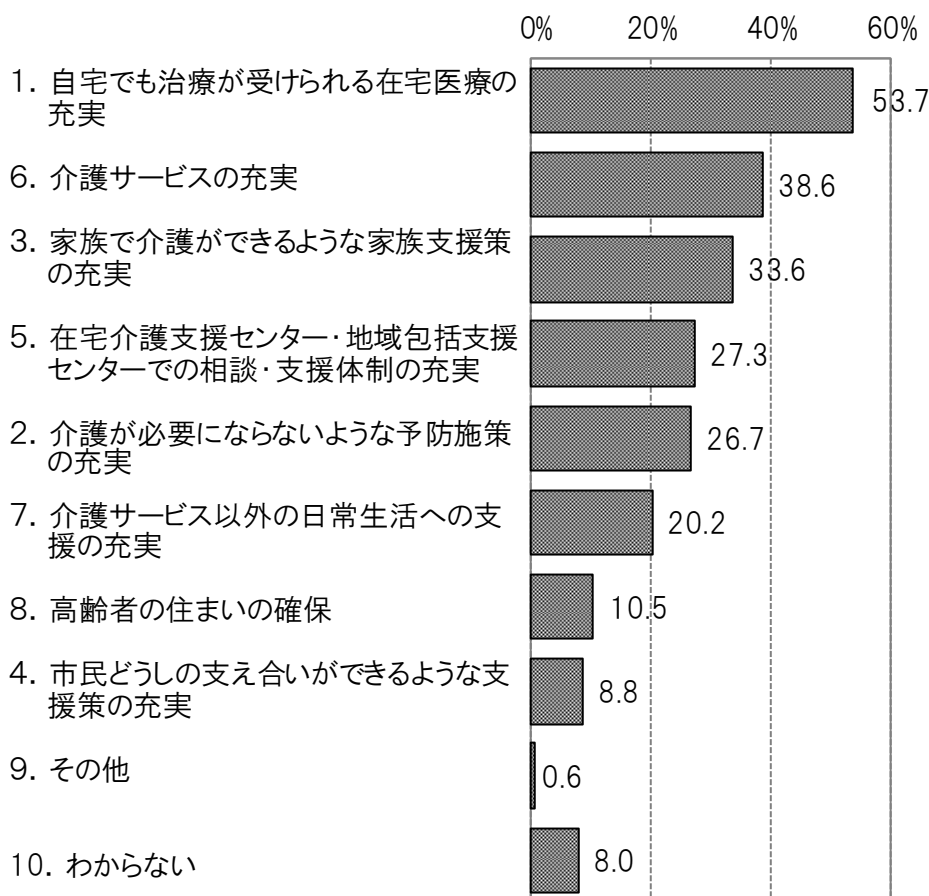
**認定状況別クロス**

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ	3 4.7	1 4.2	47 3.8	1 3.2
2. 介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない	15 23.4	7 29.2	304 24.8	4 12.9
3. 介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ	26 40.6	9 37.5	623 50.8	11 35.5
4. 介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきでない	6 9.4	-	50 4.1	5 16.1
5. わからない	14 21.9	7 29.2	203 16.5	10 32.3
全体	64 100.0	24 100.0	1227 100.0	31 100.0

認定状況別にみると、いずれの認定状況でも全体結果と同様に「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が最も高くなっており、とくに『非該当』では半数を占めています。

(4) 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)【N=1,424】

高齢者への介護体制充実のため、行政に希望することとしては、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が53.7%で最も高く、次いで、「介護サービスの充実」(38.6%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(33.6%)が続いています。



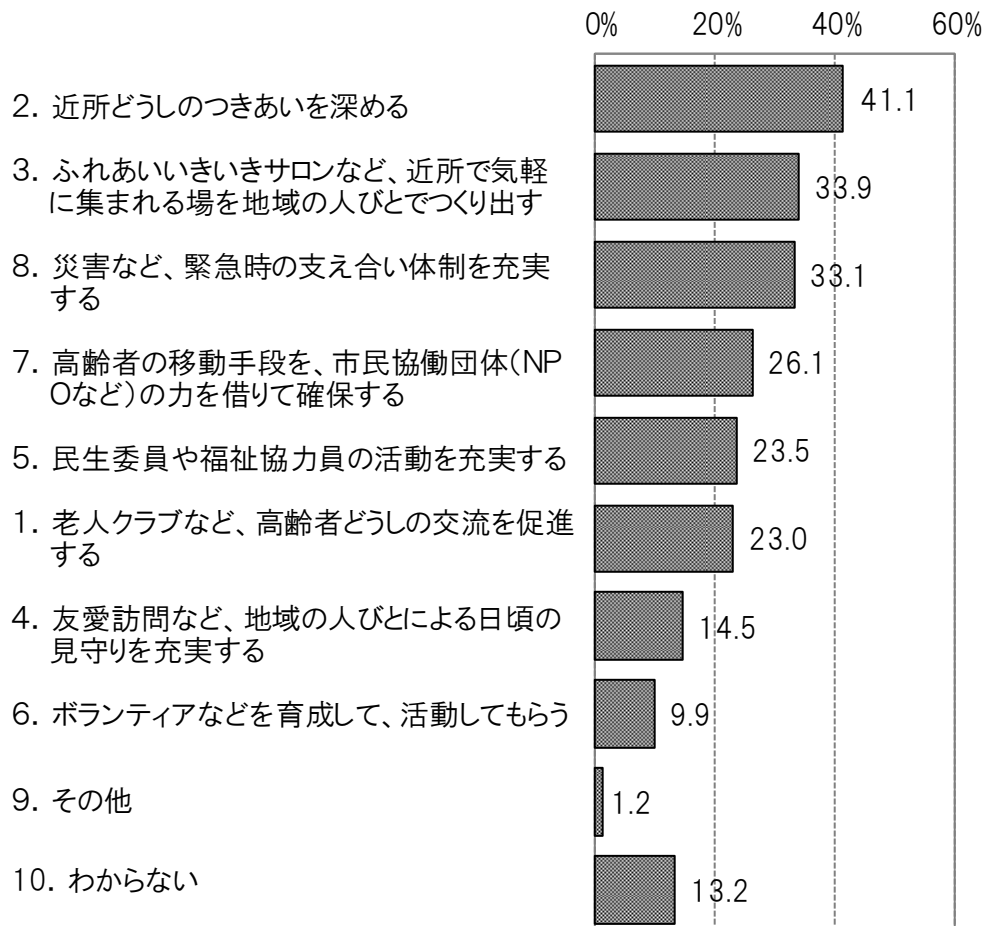
## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	95 45.5	356 58.8	28 43.8	228 53.9	45 44.6
2. 介護が必要にならないような予防施策の充実	53 25.4	158 26.1	11 17.2	127 30.0	21 20.8
3. 家族で介護ができるような家族支援策の充実	36 17.2	209 34.5	24 37.5	161 38.1	37 36.6
4. 市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	26 12.4	54 8.9	3 4.7	29 6.9	9 8.9
5. 在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実	57 27.3	161 26.6	20 31.3	114 27.0	29 28.7
6. 介護サービスの充実	64 30.6	262 43.3	24 37.5	157 37.1	36 35.6
7. 介護サービス以外の日常生活への支援の充実	52 24.9	123 20.3	10 15.6	72 17.0	26 25.7
8. 高齢者の住まいの確保	34 16.3	49 8.1	10 15.6	42 9.9	13 12.9
9. その他	2 1.0	2 0.3	1 1.6	2 0.5	2 2.0
10. わからない	28 13.4	28 4.6	7 10.9	39 9.2	12 11.9
全体	209 100.0	605 100.0	64 100.0	423 100.0	101 100.0

世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも全体結果と同様に「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が最も高くなっています。次いで、『1人暮らし』と『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』では「介護サービスの充実」が、『息子・娘との2世帯』と『その他』では「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「介護サービスの充実」と「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が同率で続いています。一方、『1人暮らし』では「市民どうしの支え合いができるような支援策の充実」が12.4%と、他の世帯状況に比べて若干高くなっています。

(5) 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、どのようなことが重要だと思いますか。  
 (〇は3つまで)【N=1,419】

高齢者が地域で暮らし続けるために重要なことは、「近所どうしのつきあいを深める」が41.1%で最も高く、次いで、「ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」(33.9%)、「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」(33.1%)が続き、コミュニティ組織や交流機会、緊急時対策が重視されています。



## 世帯状況別クロス

上段:度数 下段:%	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他
1. 老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	48 23.5	139 23.2	18 27.3	90 21.1	25 24.8
2. 近所どうしのつきあいを深める	79 38.7	252 42.1	20 30.3	187 43.9	35 34.7
3. ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す	67 32.8	208 34.8	22 33.3	139 32.6	32 31.7
4. 友愛訪問など、地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	24 11.8	100 16.7	10 15.2	55 12.9	11 10.9
5. 民生委員や福祉協力員の活動を充実する	58 28.4	145 24.2	14 21.2	89 20.9	25 24.8
6. ボランティアなどを育成して、活動してもらう	16 7.8	56 9.4	13 19.7	42 9.9	10 9.9
7. 高齢者の移動手段を、市民協働団体(NPOなど)の力を借りて確保する	52 25.5	157 26.3	14 21.2	111 26.1	30 29.7
8. 災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	72 35.3	201 33.6	25 37.9	132 31.0	35 34.7
9. その他	4 2.0	4 0.7	1 1.5	6 1.4	- -
10. わからない	31 15.2	68 11.4	10 15.2	62 14.6	17 16.8
全体	204 100.0	598 100.0	66 100.0	426 100.0	101 100.0

世帯状況別にみると、『夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)』では「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が最も高くなっていますが、『1人暮らし』と『夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)』、『息子・娘との2世帯』では全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっています。また、『その他』では「近所どうしのつきあいを深める」と「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が同率で高くなっています。

## 認定状況別クロス

上段:度数 下段:%	要支援1	要支援2	非該当	わからない
1. 老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	7 10.8	7 29.2	293 23.2	8 27.6
2. 近所どうしのつきあいを深める	22 33.8	3 12.5	531 42.0	8 27.6
3. ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとで作り出す	18 27.7	3 12.5	429 33.9	12 41.4
4. 友愛訪問など、地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	12 18.5	3 12.5	186 14.7	1 3.4
5. 民生委員や福祉協力員の活動を充実する	19 29.2	7 29.2	298 23.6	4 13.8
6. ボランティアなどを育成して、活動してもらう	4 6.2	2 8.3	129 10.2	1 3.4
7. 高齢者の移動手段を、市民協働団体(NPOなど)の力を借りて確保する	22 33.8	7 29.2	329 26.0	6 20.7
8. 災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	23 35.4	9 37.5	423 33.4	6 20.7
9. その他	- -	- -	16 1.3	- -
10. わからない	10 15.4	5 20.8	161 12.7	11 37.9
全体	65 100.0	24 100.0	1265 100.0	29 100.0

認定状況別にみると、『非該当』では全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっていますが、『要支援1』と『要支援2』では「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が最も高くなっています。



## 日常生活圏域別クロス

上段:度数 下段:%	北地区	中地区	南地区
1. 老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する	92 22.2	116 23.1	110 23.1
2. 近所どうしのつきあいを深める	155 37.4	222 44.2	191 40.0
3. ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す	152 36.7	160 31.9	152 31.9
4. 友愛訪問など、地域の人びとによる日頃の見守りを充実する	57 13.8	68 13.5	76 15.9
5. 民生委員や福祉協力員の活動を充実する	87 21.0	135 26.9	109 22.9
6. ボランティアなどを育成して、活動してもらう	41 9.9	45 9.0	49 10.3
7. 高齢者の移動手段を、市民協働団体(NPOなど)の力を借りて確保する	106 25.6	135 26.9	124 26.0
8. 災害など、緊急時の支え合い体制を充実する	148 35.7	161 32.1	159 33.3
9. その他	2 0.5	7 1.4	7 1.5
10. わからない	59 14.3	60 12.0	68 14.3
全体	414 100.0	502 100.0	477 100.0

日常生活圏域別にみると、いずれも全体結果と同様に「近所どうしのつきあいを深める」が最も高くなっています。また、『北地区』では「ふれあいいいききサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が、『中地区』と『南地区』では「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が2番目に高くなっています。

(6) その他、介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

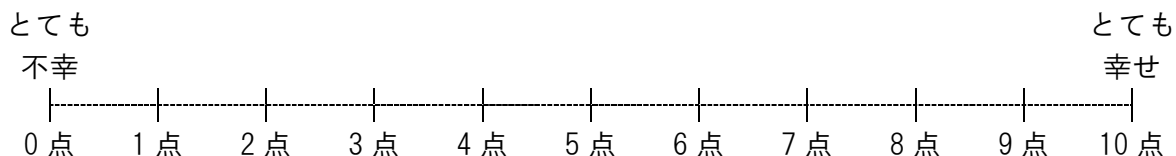
※記述回答につき、本報告書では省略

## 幸福感（問7-（2））の要因分析

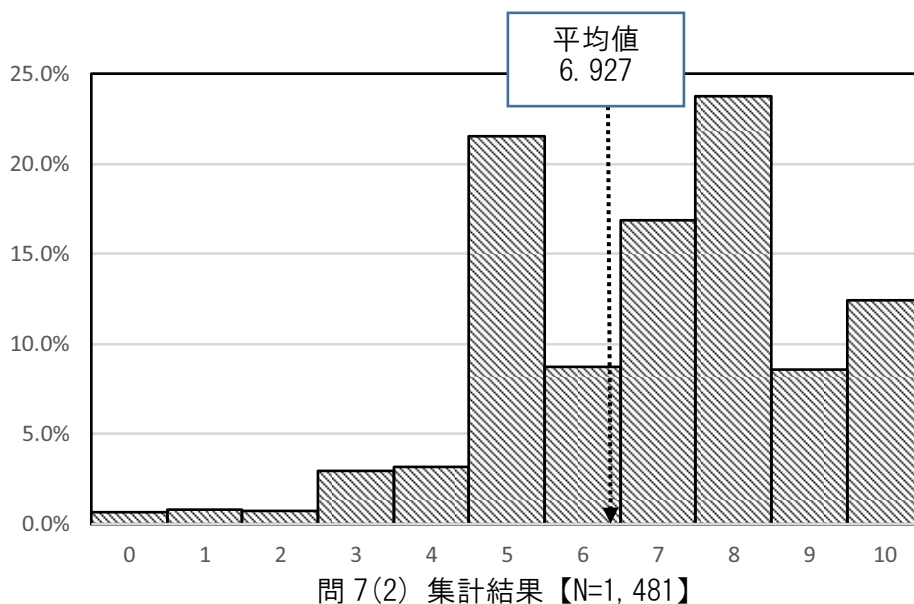
本調査の問7-（2）では、幸福感を11段階で評価する設問を設けています。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○を付けてください）



その結果については、次のとおりです。



本調査では、この「幸福感」に影響をあたえる要因になるとと思われる質問をしています。

設問番号	はじめに (5)	問1 (1)	問1 (2)	問1 (3)	問2 (8)	問4 (7)	問4 (8)
設問内容	介護認定	家族	介護・介助の必要性	暮らし向き	外出	趣味	生きがい

そこで、上記の各設問と問7-（2）「幸福感」とのクロス集計をおこない、各設問の選択肢ごとに幸福感の平均値を算出しました。

## ①問 7(2) (幸福度)×はじめに(5)介護認定のクロス集計

設問番号	はじめに(5)	
設問内容	介護認定	
選択肢ごとの 平均値	1. 要支援1の認定を受けている	6.21
	2. 要支援2の認定を受けている	5.27
	3. いずれも受けていない	7.04
	4. わからない	5.42

## ②問 7(2) (幸福度)×問 1(1)家族構成のクロス集計

設問番号	問 1(1)	
設問内容	家族	
選択肢ごとの 平均値	1. 1人暮らし	6.33
	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	7.07
	3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	7.07
	4. 息子・娘との2世帯	7.16
	5. その他	6.07

## ③問 7(2) (幸福度)×問 1(2)介護・介助の必要性のクロス集計

設問番号	問 1(2)	
設問内容	介護・介助の必要性	
選択肢ごとの 平均値	1. 介護・介助は必要ない	7.08
	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	6.05
	3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	5.91

## ④問 7(2) (幸福度)×問 1(3)暮らし向きクロス集計

設問番号	問 1(3)	
設問内容	暮らし向き	
選択肢ごとの 平均値	1. 大変苦しい	5.25
	2. やや苦しい	6.09
	3. ふつう	7.24
	4. ややゆとりがある	7.93
	5. 大変ゆとりがある	8.07

⑤問 7(2) (幸福度) × 問 2(8) 外出

設問番号	問 2(8)	
設問内容	外出	
平均値 ご選択 肢の枝	1. はい	6.13
	2. いいえ	7.11

⑥問 7(2) (幸福度) × 問 4(7) 趣味

設問番号	問 4(7)	
設問内容	趣味	
平均値 ご選択 肢の枝	1. 趣味あり	7.24
	2. 思いつかない	6.12

⑦問 7(2) (幸福度) × 問 4(8) 生きがい

設問番号	問 4(7)	
設問内容	趣味	
平均値 ご選択 肢の枝	1. 生きがいあり	7.48
	2. 思いつかない	6.02

いずれも、ポジティブな選択肢ほど「幸福感」の平均値が高くなっており、「幸福感」に影響していると考えられます。影響が大きいほど、選択肢ごとの平均値のばらつきが大きくなると考えられるため、影響度の大きさを比較するために平均値の標準偏差を算出し、その大きさを比較しました。

項目	平均の標準偏差※
介護認定	1.1793
暮らしの経済的状況	1.0906
介護・介助の必要性	0.7869
生きがい	0.7506
趣味	0.6074
外出を控えているか	0.5649
家族	0.4879

※ 算出式：平均の標準偏差 = 
$$\sqrt{\frac{\sum((\text{選択肢等の幸福度平均値}) - (\text{全体の幸福度平均値}))^2}{\text{選択肢数}}}$$

また、選択肢により形成されたグループ毎の平均値の相違の、統計的な有意性を1元配置分散分析により検証を行いました。

帰無仮説を「選択肢のグループごとの平均値は等しい」と設定し、F検定を行ったところ、いずれも0.1%の水準で棄却され、平均値が異なることは有意であるとの結果となりました。

介護度		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	3	194	64.68	16.01	3.07E-10	***
グループ内	誤差 e	1448	5857	4.05			
<hr/>							
家族		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	5	190	38.04	9.403	7.82E-09	***
グループ内	誤差 e	1448	5857	4.05			
<hr/>							
介護・介助の必要性		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	3	214	71.31	17.84	2.26E-11	***
グループ内	誤差 e						
<hr/>							
生活の経済状況		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	4	724	181.02	49.36	2E-16	***
グループ内	誤差 e	1453	5329	3.67			
<hr/>							
外出を控える		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	1	229	228.7	57.24	7E-14	***
グループ内	誤差 e	1384	5529	4			
<hr/>							
趣味をもつ		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	1	371	370.6	95.21	2E-16	***
グループ内	誤差 e	1430	5566	3.9			
<hr/>							
生きがい		自由度	平方和	平均平方和	F 値	P 値	
グループ間	因子	1	711	710.7	196.8	<2e-16	***
グループ内	誤差 e						

\*\*\* 0.1%の水準で有意